

茶式湖月抄

湖月老隱著

七

156

10

82

茶式湖月抄四編卷上

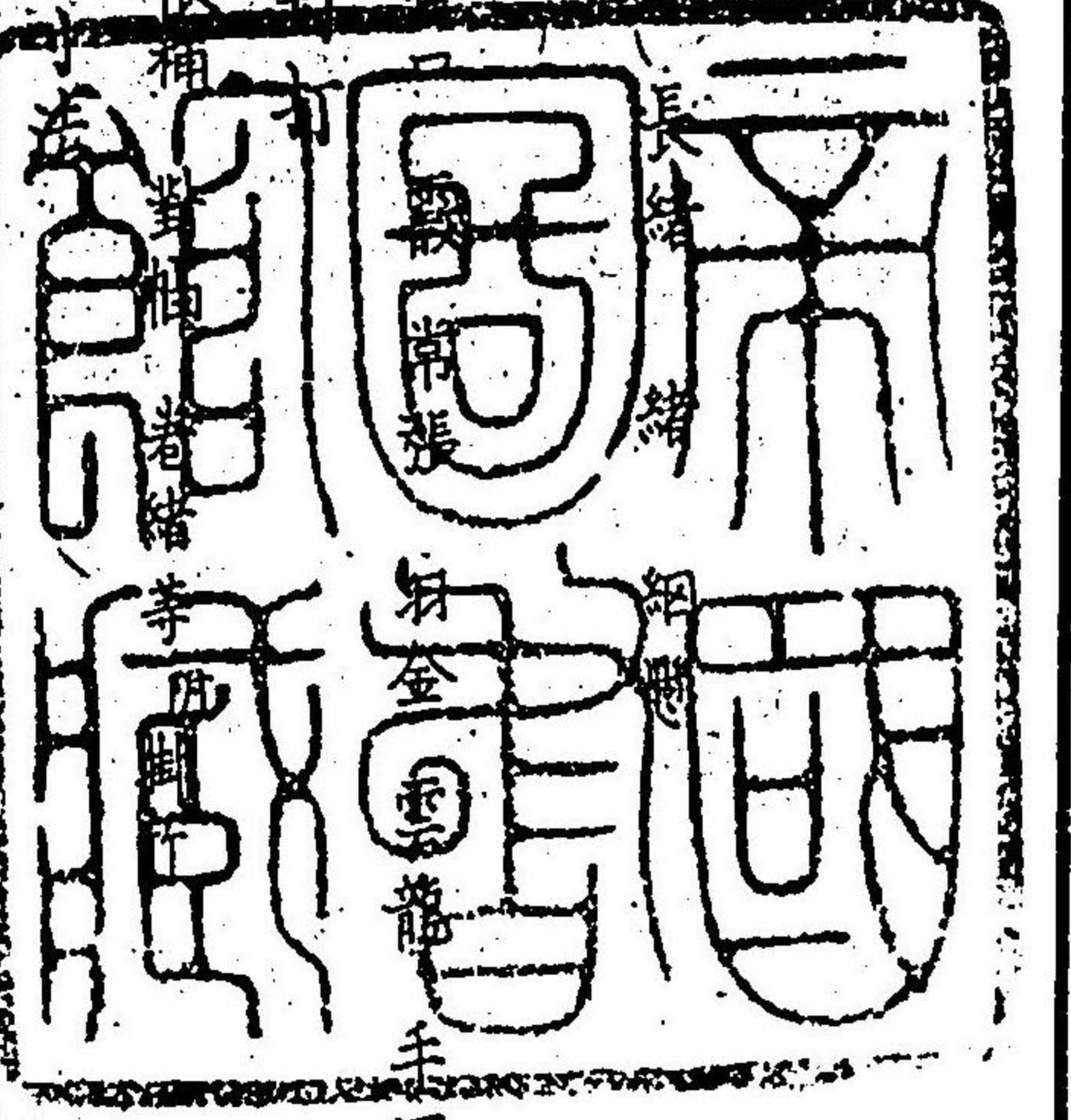
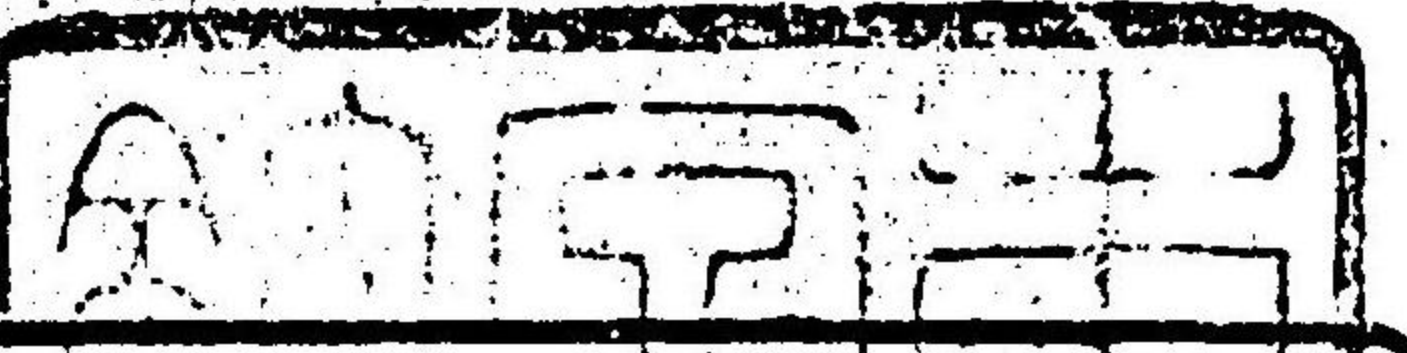
畫裝束之度

金仕掛之莫

掛物之心得并釘

花入裏掛并釘

花打敷寸法



手取等

著瓢青磁耳附舟馬盥并未由

一羽三羽東緒小羽

茶月抄

建水 面桶寸法

袋 棚 結 鷗好

利休 簞司

割 簞司

臺子 炬割 秘 支 附宗易之文

小臺子 炬割 飾 寸臺 中板

臺子 之 菴排 敷ヶ糸

寸臺 中板等

以上上卷

城 樓 棚 宗及好 半切棚トモ

洞 棚

宗 納 簞司

利休 茶箱 併

茶式湖月抄四編卷上

○壹 裝束 飾 拾壹枚実

壹ノ裝束品々アリ細口履 口緒 長緒 半緒 乳緒 寺アリ 飾ヤウ 板床

ニハ紙ヲ敷テカザル奉書ヲ四重ニシテ臺ノ底ヨリ外ニ四五分餘ヤウ

ニ切テ紙ノ折目ヲ前ニスベシ疊床ニハ敷紙ニ及ザレモ名物ノ臺ハ敷紙

ヨシ書院方ニテハ兼茶臺ノカガリ色々アリ又書院ニテ口切ノ事モアリ

口俤小坐敷ニテ臺カザリノ可口切ノ時タルベシ又時宜ニヨリ常ノ會ニモ

臺飾アルベシ

○拾壹ノ故実ハ利休ノ時代ニ小島屋道察ト云フ者 眞臺ヲ求メシニ其項沙汰  
アル程ノ見事ナル臺ニテ人々見ントテ所望ストイヘドモ名モノナキ臺カザル  
如何ナリトテ界下シテ出サズ或ル時友人而三客道察カ常ノ會ニ招カレシ  
片侍合ヨリ人ヲ以テ今日我々ドモ参リシハ第一御臺拝見大望ナリ然レドモ  
猶モ惜ミテ御筋ナクバ此マ退去シ可申ト申入シカバ道察ヨンドコロナク御覽ニ  
入可申トノ答ナシテヤカテ迎ニ出タリ客則チ例ノゾトク潜ヲ開キテ入り見テ

建水面桶寸法

袋棚 結好

利休篋司

割篋司

臺子炬割秘

小臺子炬割飾

臺子之荒排

城樓棚 宗及好 半切棚トモ

洞棚

宗納篋司 侍

利休茶箱

附宗易之文

寸臺中板

予臺中板等

以上上卷

茶式湖月抄四編卷上

○壺 裝束 飾 檜臺故実

壺ノ裝束品々アリ網口履口緒長緒半緒乳緒等アリ飾ヤウ板床  
 二ハ紙ヲ敷テカザル奉書ヲ四重ニシテ壺ノ底ヨリ外ニ四五分餘ヤウ  
 ニ切テ紙ノ拵目ヲ前ニスベシ疊床ニハ敷紙ニ及ザレハ名物ノ壺ハ敷紙  
 ヲシ書院方ニテハ兼茶壺ノカザリ色々アリ又書院ニテ口切ノ事モアリ  
 口傳小坐敷ニテ壺カザリノ口切ノ時タルベシ又時宜ニヨリ常ノ會ニモ  
 壺飾アルベシ

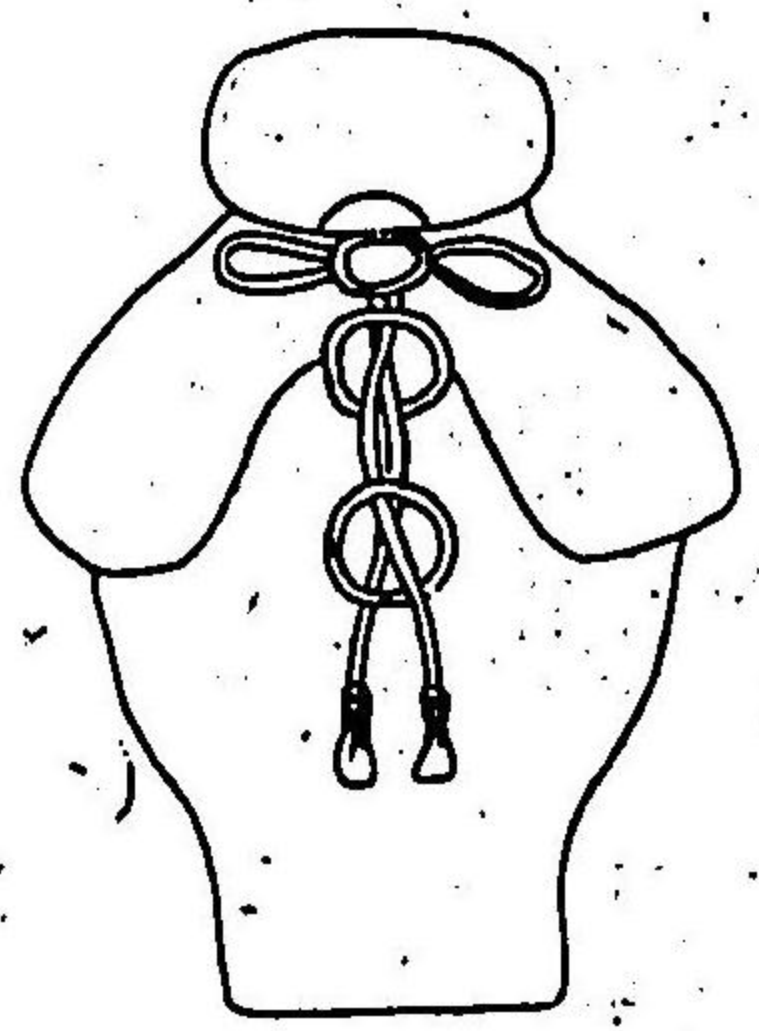
○檜臺ノ故実ハ利休ノ時代ニ小島屋道察ト云フ者真壺ヲ求メシニ其項沙汰  
 アル程ノ見事ナル壺ニテ入々見シトテ所望ストイヘドモ名モナキ壺カザル  
 如何ナリトテ界下シテ出サズ或ル時友人兩三客道察カ常ノ會ニ招カレシ  
 片侍合ヨリ人ヲ以テ今日我々ドモ参リシハ第一御壺拝見大望ナリ然レドモ  
 猶モ惜ミテ御筋ナクバ此マノ退去シ可申ト申入シカバ道察ヨンドコロナク御覽ニ  
 入可申トノ答ナシテヤガテ迎ニ出タリ客則テ例ノゴトク潜ヲ開キテ入り見

彼壺口覆バカリシテ潜ノ股ニコカシ置キタリ道祭ニ向ヒ床へ御カサリタマハレト云ニ答ヘテ重々御所望ニ出シテハ候ヘドモ床へ上申ホドノ品ニハ候ハズヨツテ貴テ御通りガケニモト存シ拾置申侯其マ御覧下サルベシトノ挨拶ナリ然レドモ段々望ニヨリ終ニ一覽ノ後チ床へ飾ラレシトナリ此壺後ニハ小島屋ノ時雨ト名ヲ得タリ此ノ所作ヲ人々感シ拾壺ト云ヒハヤシタリ利休コレヲ傳ヘ聞テ時ニ取テハ右ノ働キモ有ルベキナレドモ只所望ノ上ニテ壺出入ホドナラハ床へ飾タル方オトナシキ所作ナルベシ拾壺トハ六ツケ敷事ナリ勿論真似ベキニアラズト云ヘルトナリ

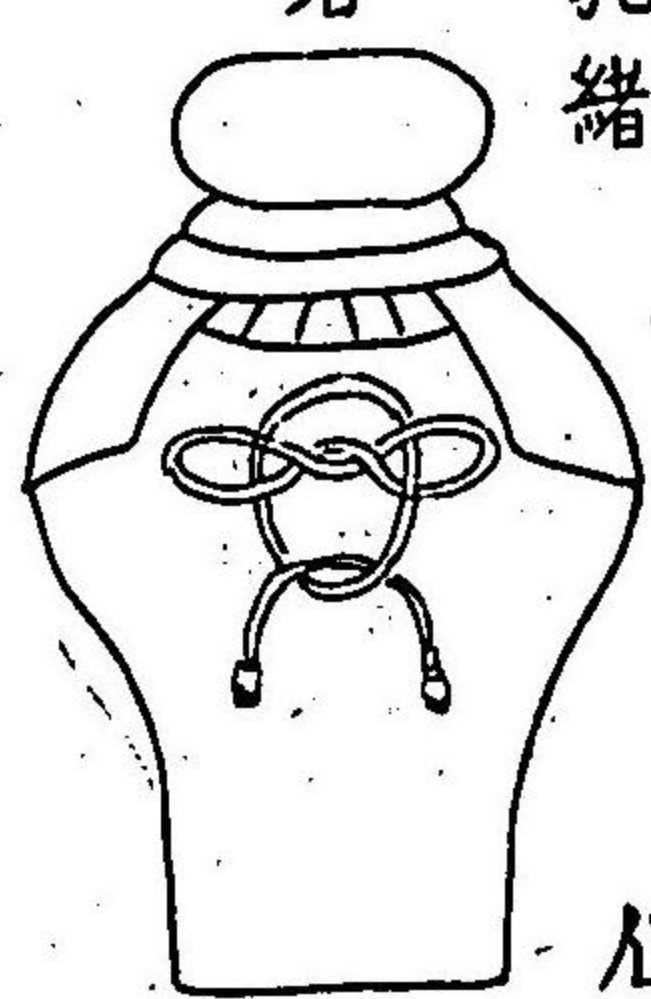
壺装束

口覆金入ヲ用ユ大サ壺ノ大小ニヨリ作ル

長緒



右 乳緒

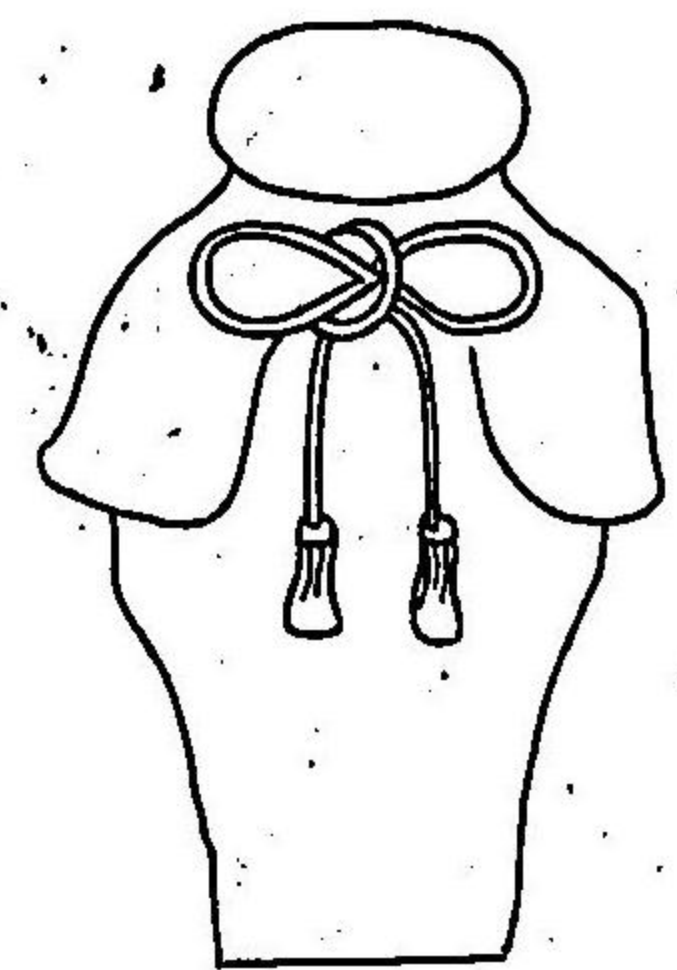


但 脇ヨリ見ル形

乳ハ口覆下ニナリ見ヘズコレハ乳緒ノ通タル形ニエニ如此シルス

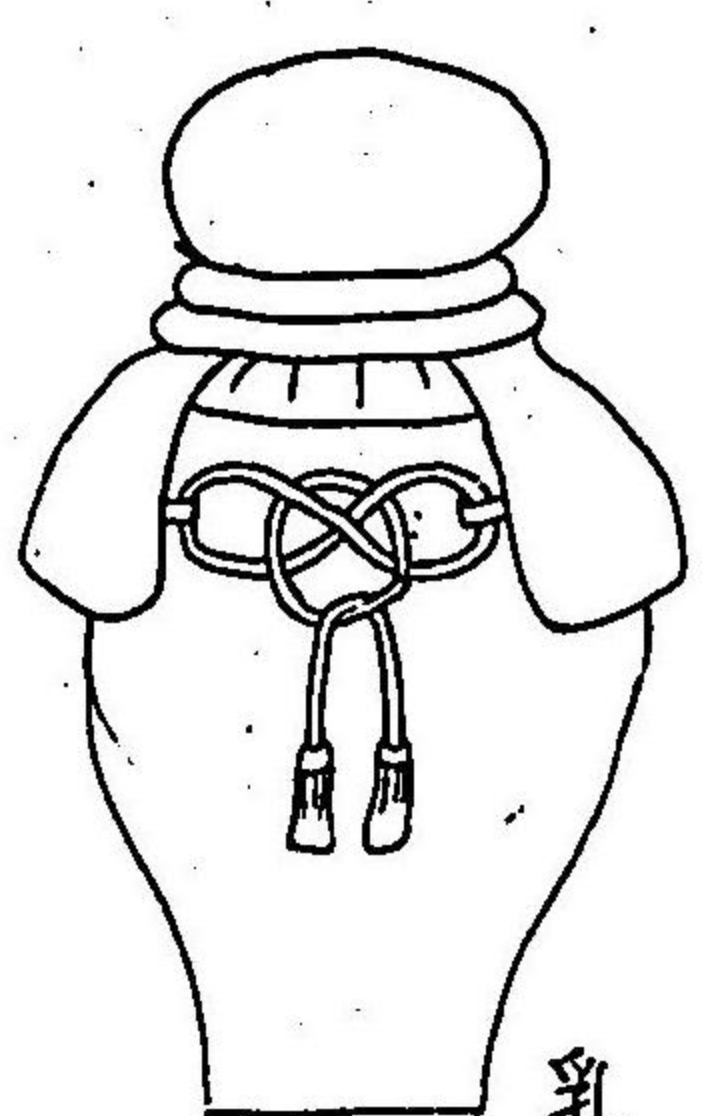
長緒

七尺五寸  
八尺五寸  
九尺五寸  
壺ノ大小ニヨリ違アリ



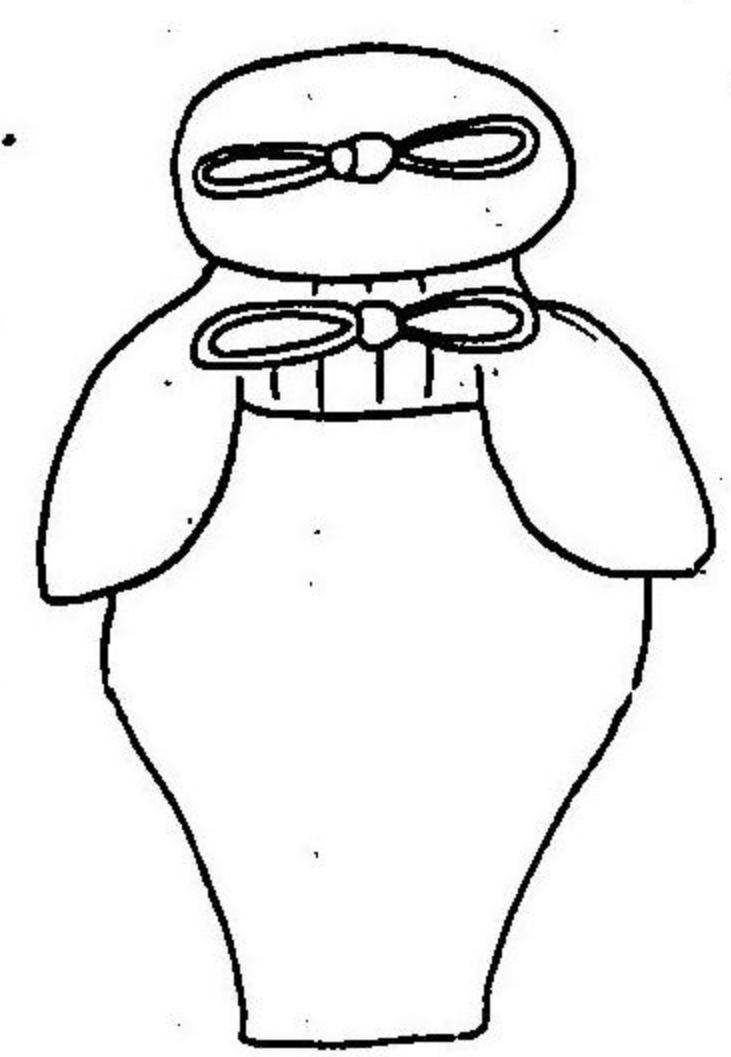
紅紫ノ間ヨシ  
房長サ  
一寸七八分  
二寸ホドヨシ

乳緒 左

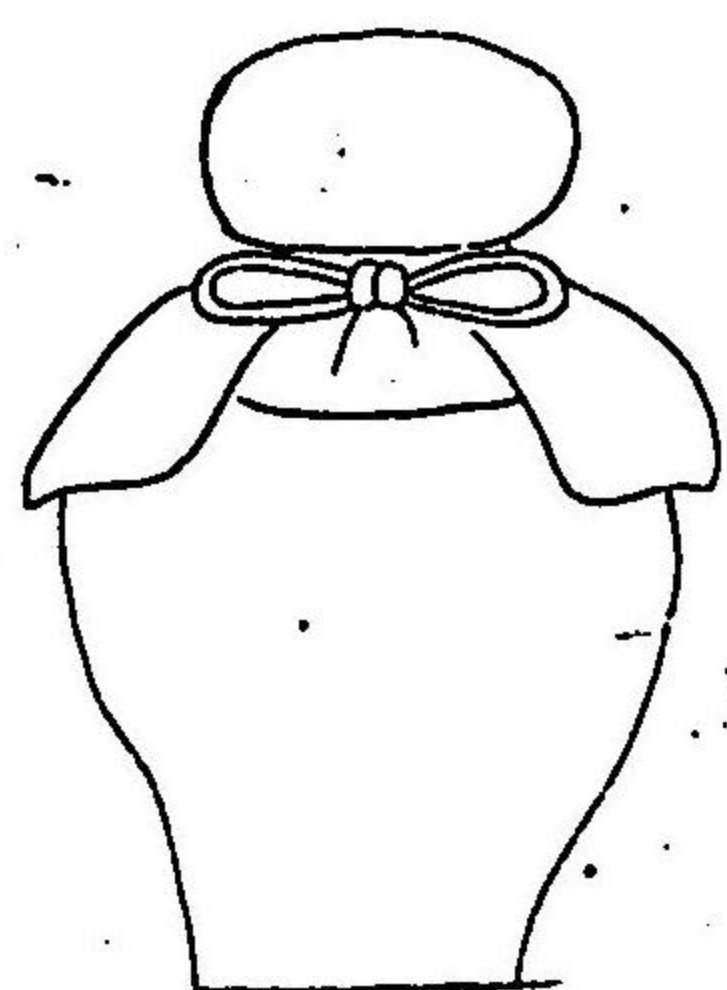


乳緒 長サ 二尺五寸

網カ、リタル形



但 網ノトキハ長緒ハカケス半緒ニ

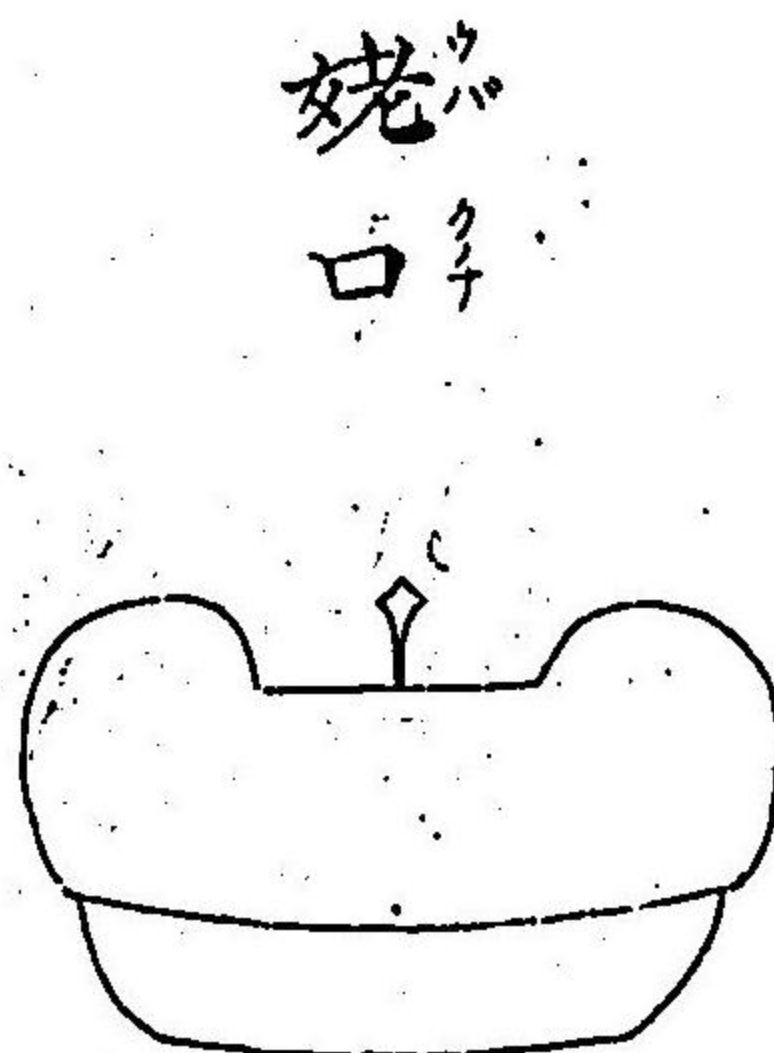


半緒

長三尺五寸四尺ノ間房ハナシ  
右左ハ床ニヨリ違アリ

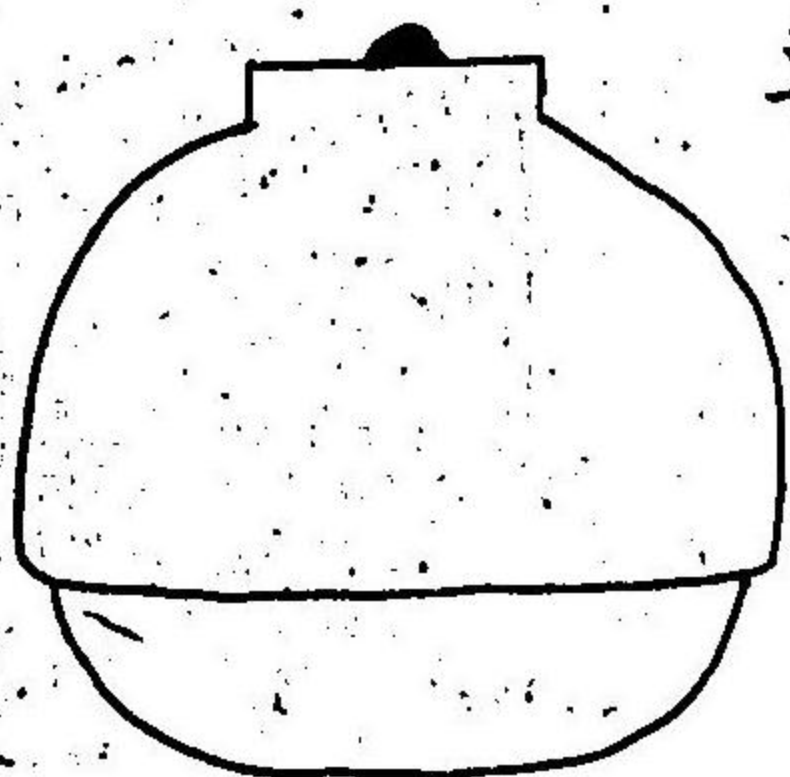
○釜

釜ニヨリ仕掛ノ高下アリ心得アルベシ左ニアラハス



爐縁ヨリ四分五分六分ホドサゲテ仕掛ベシ  
焼口ニヨリテサラスコシ悪キモアリ  
柄杓ヲカケテ柄サキニ三分ホド上ルヤ  
ウニスベシ

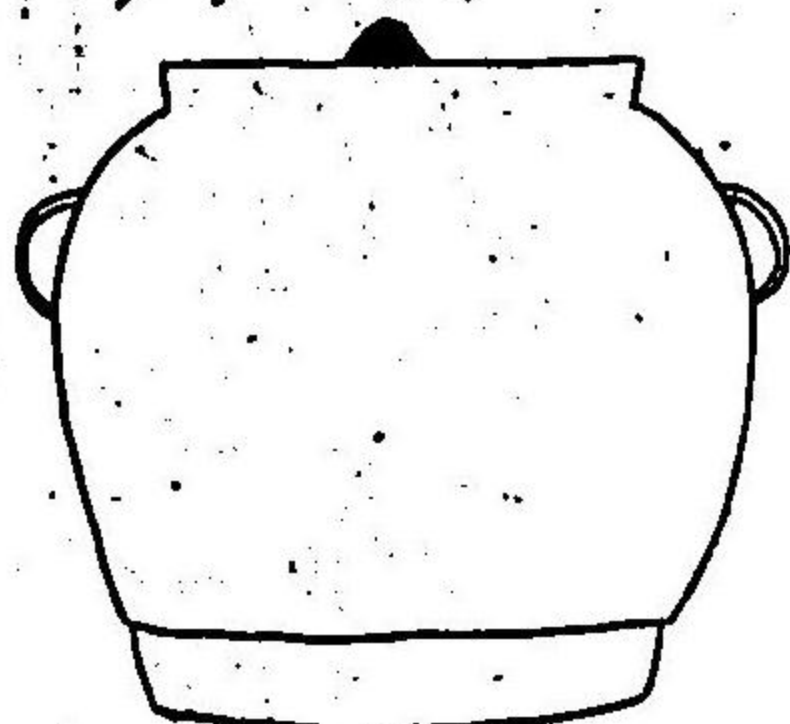
輪口



爐アチヨリ定規ヲワタシテ一寸一分又九分八厘六分  
ホドアケテ仕掛ベシ  
輪口ニヨリ不同アリ

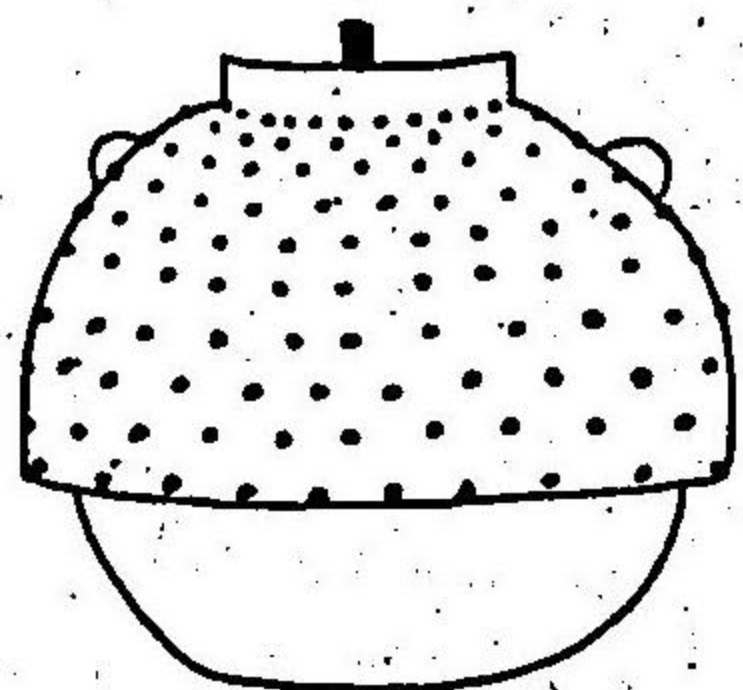
皆口

又大鼓  
トモ  
但形少シ  
タガフ



爐アチヨリ八分ホド上テ仕掛  
ベシ寒氣甚シキ時ハ湯湯カヘル  
ヲミテヨシサレドモ口廣キニ湯  
ノサムル心アリテヨシ然シ春  
秋ナドハ好マズ

霰



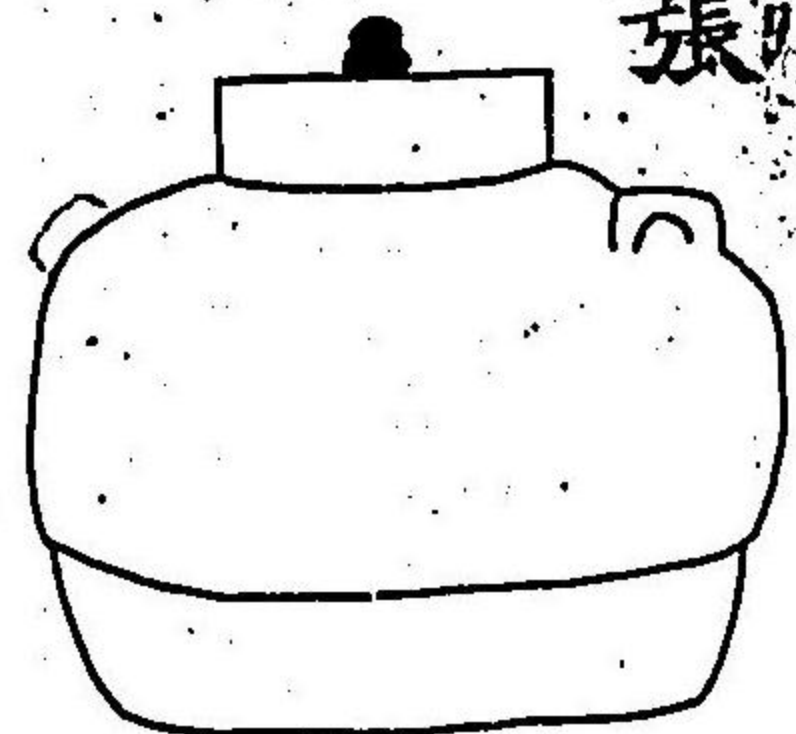
燒口ニモ輪口ニモ其外イツレノ  
形ニモアリ釜茶巾ニテ拭フトキ  
ハ常ノ釜トハ全紙タガフナリ  
霰ノ上ヲシトクトヲシテ改ム  
ベシ

雲龍



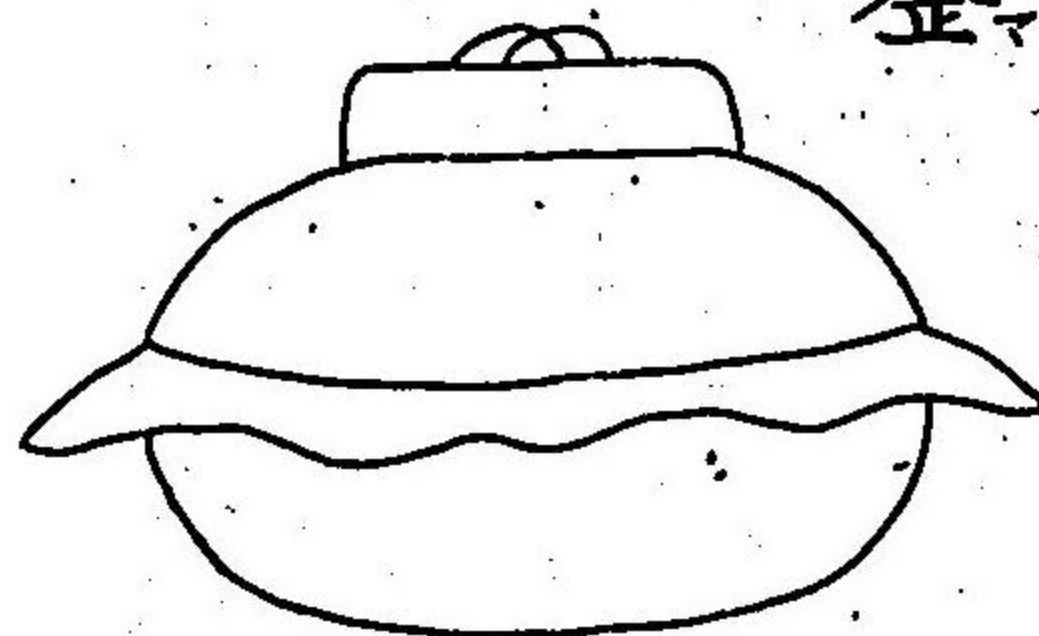
大雲龍小雲龍トテ二通アリ  
元青磁ノ水指ノ紋ヲ紹鷲ウ  
ツシ置タル面ヲ以テ利休  
ニ屬シ鑄サセタルナリ何レモ  
筒釜ナリ大雲龍ハ天明小  
雲龍ハ蓋屋作ナリト云小雲  
龍ハ湯相火相六ツカシ

常張



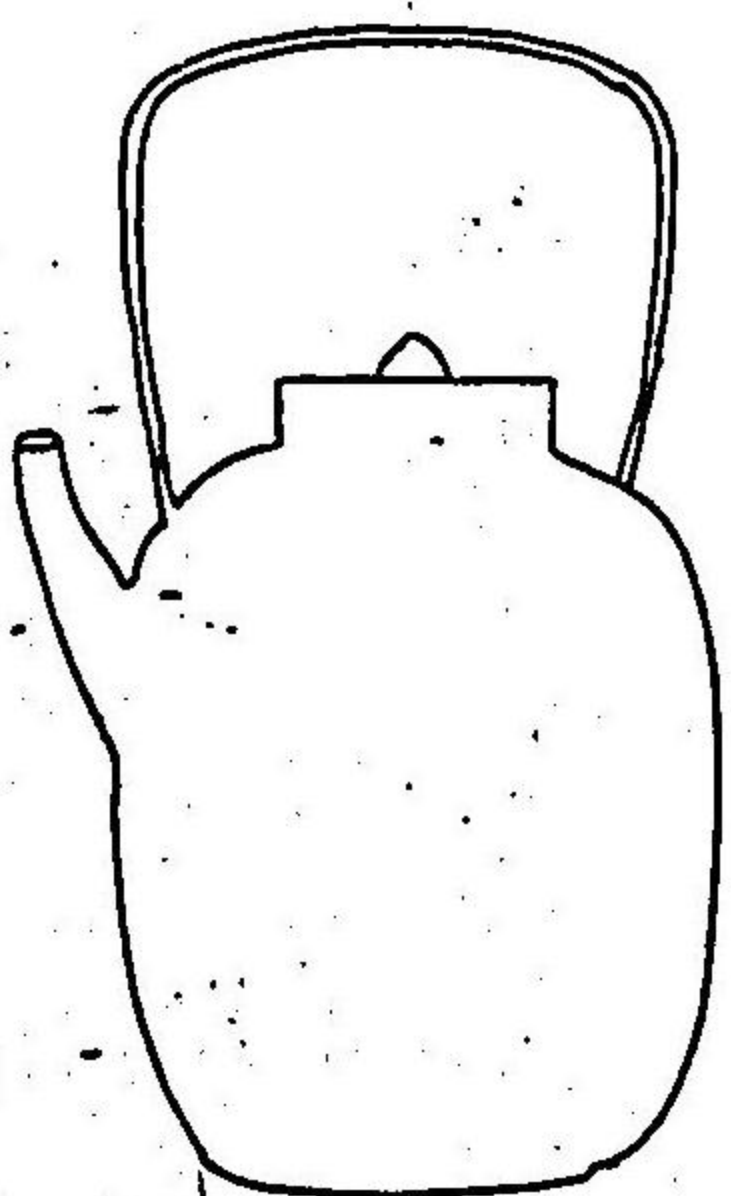
常ノ環ニテハ掛オロシ  
成カタシ番ノ如キ環ヲ  
用ユ

羽釜



土禮ニカ、ルホドノ大羽アル  
釜ヲバ透ホニテ作用ナリ風  
爐ニモ透ホヲ用ユル人アリ不  
好ナリ至極アヤウキ者人

手取



釜ノ形此ノ外ニモ種々アレド人ノ知ル処ナレバ記サズ尤仕掛ニ差別定マラス  
此等ノ仕掛ヲ以テ考フベシ

堀ノ一路居士ノ所持ナリ

狂歌

手取り釜おろれぐらハ  
さうすい考ると  
ふくろふ

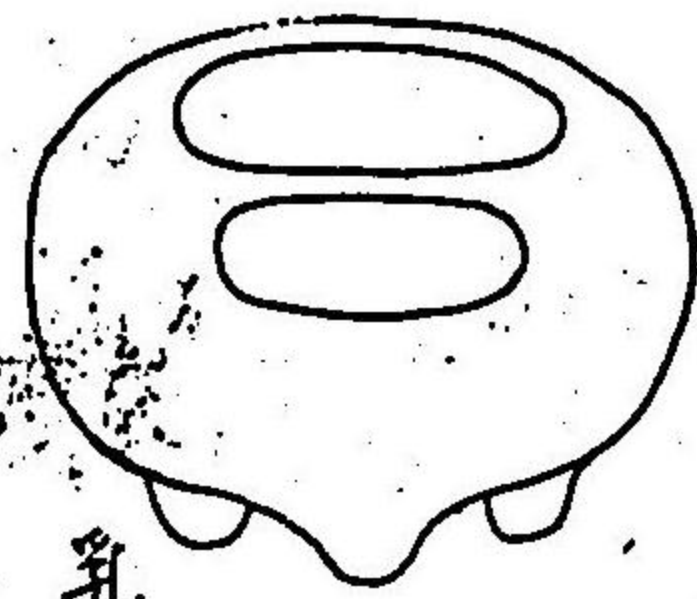
風爐

風爐ノ形品々ナルユエ記シガタシ尤カラカネ鉄トモ炭ノトキ灰ツカフニ及ハズ  
サレドモクリロノ明タル風爐ハ土器ノ上ニツカヒタル灰クツレタラバ灰ナホス  
ベシ火氣ノ心ツカヒナキユへ惣様ニ灰ツカフニテハナシ

○油煙風爐 軸足 乳足

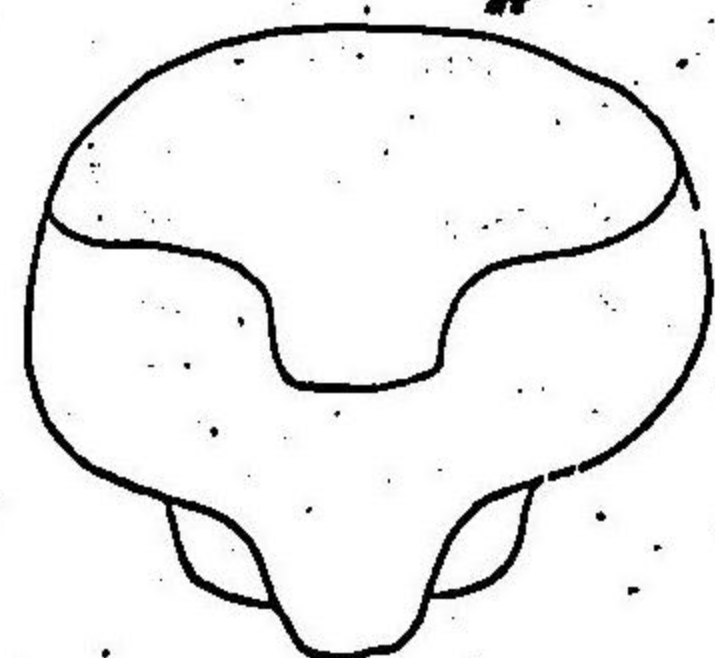
油煙風爐ハ熏タル風炉ナリ土風炉ニ炭ノ時灰ツカフベシ胴炭ナドノオコリテ  
火氣ツヨカラシ所ニハ灰ヲタカク置シ火氣ノ用捨專要ナリ眉ノ有無軸足  
乳足トモニ土風炉カラカネ鉄ニモアリ

眉アリ

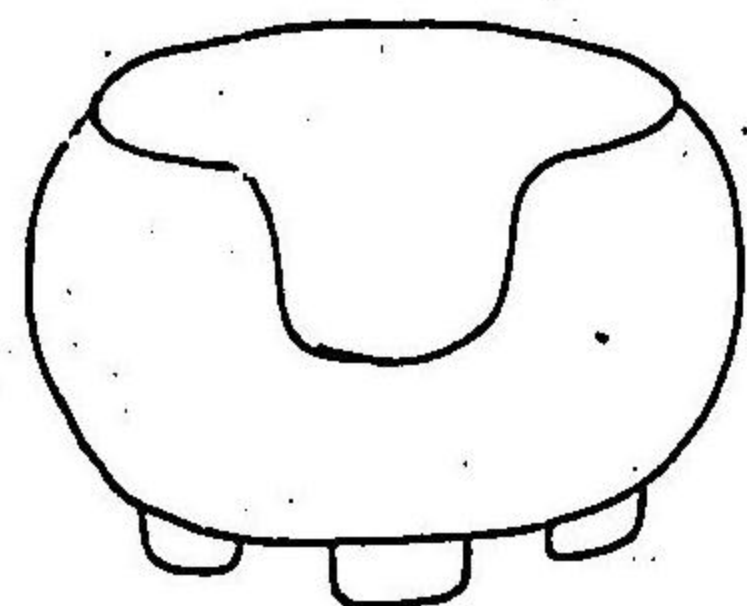


乳足

眉ナシ



乳足



軸

猶種々ノ形アリ  
悉クハ記シガタシ其ノ  
アラマシヲ記ノミ

○掛物

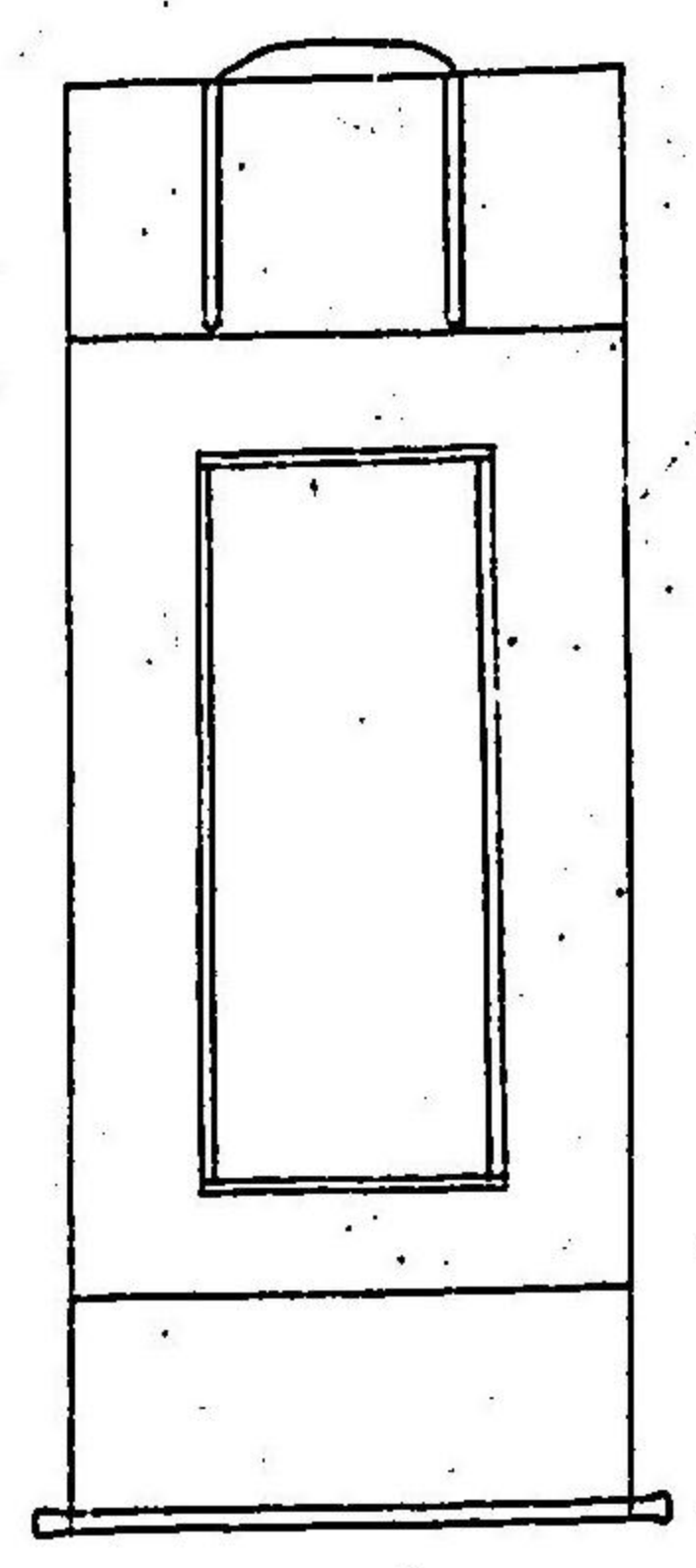
掛物ハ第一ノ道具ナリ客主人ハ茶湯三昧ノ一心得道ノモノナリ墨跡ヲ第一トス  
尤ソノ語句ノ心ヲ敬ビ筆者道人祖師ノ徳ヲ賞翫スル処ナレバ俗筆ノ物ハ掛ル  
一ナシ去レモ哥人道哥ナドヲ掛ル一アリ佛語祖語ト筆者ノ徳ト兼用ユルヲ第  
一トシ重寶トス亦筆者ハ大徳ト云フニハ有ラネモ佛語祖語ヲモチヒテ掛ルヲ  
第二トス繪モ筆者ニ依テ掛ルナリ唐僧ノ繪ニ佛祖像人形画多シ人ニヨリ持佛  
堂ノヤウナリト嫌フ人モアリ一段賞翫シテ掛ベシ飯依アルベキ事別シテナリト  
利休云ヘリトカヤ器ノ記茶入茶碗其外ニテモ道具ノ證文タルユエ別シテ賞翫  
シテ掛ベシ

○豎長物横物床ノ心得アリ横物ニテ上下ツマリタラバ床ノ天井ヲ下ケ豎物ニテ餘ルホ  
ドナラバ天井ヲアゲテヨシコレ我秘藏ノ道具名物等ノ事ナリ別掛物ノトキ懸キ分ハ  
少シモ厭フベカラズ繪ニハ右繪左繪アリ坐敷ノ向ニヨリテ床ノツケヤウ心得ベシニッ  
釘ニカ、ル大横物三所トモニカケ又中ノ緒ヲハツシテ兩股バカリ掛ル一アリ口傳  
○墨跡ヲ茶席ニ掛ル一珠光ノトキ圓悟禪師ノ墨跡ヲ掛タルヲ始トストイヘリ利休  
ノ時大徳寺壇越タルユヘ大徳寺ノ先徳其トキノ和尚ナドノ墨跡ヲモ用ヒシト多シ



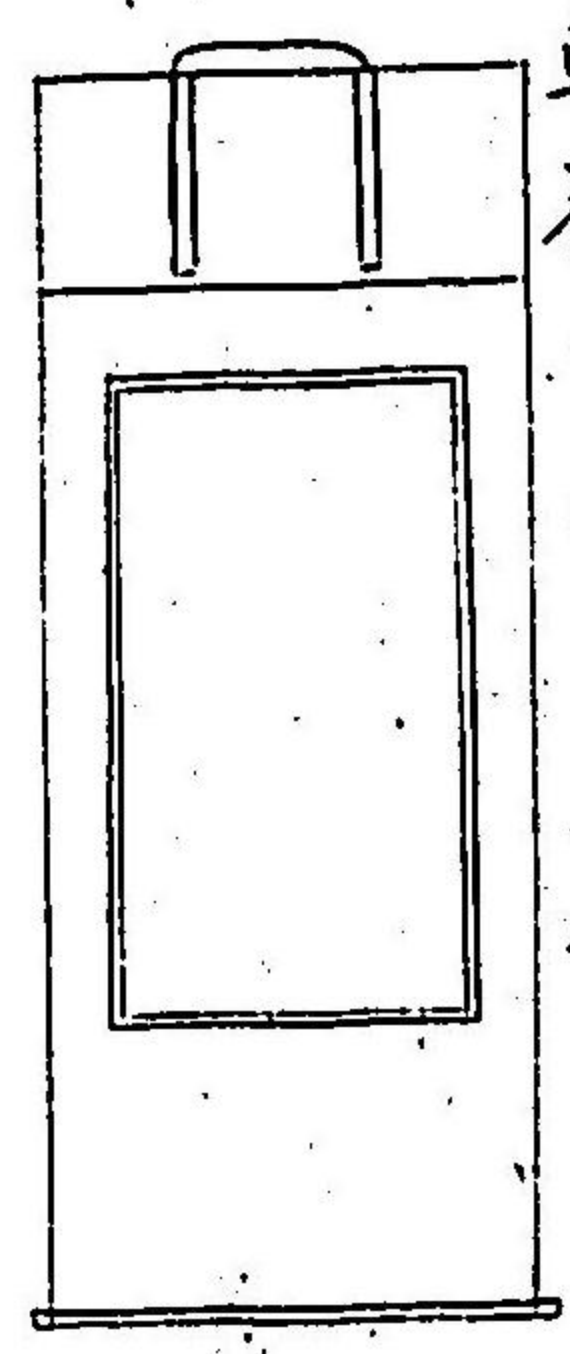
其後チ専ラ大徳ノ派下ナラデハ用ヒザル様ニ心得タカヘルナリ利休ノ時差別ナ  
キ子細ハ東坡和尚ノ墨跡秘藏シテ用ヒラレモ頼ナル由シナリ東坡ハ曹洞派ノ唐僧  
ナリ其外今モ傳ル墨跡ノ古筆一派ニ限ラザル一顯然タリ他宗ニテモ大徳寺ノ  
墨跡用ル一勿論人

燈補



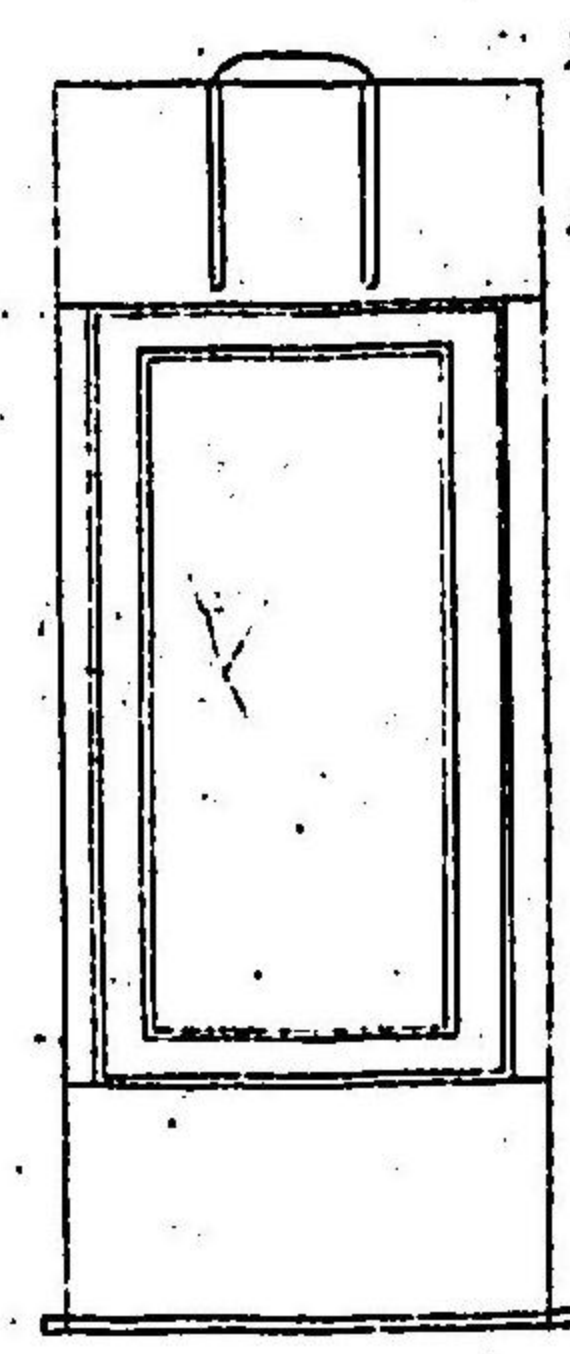
中ノワキ巾廣キヲ云フ

輪補



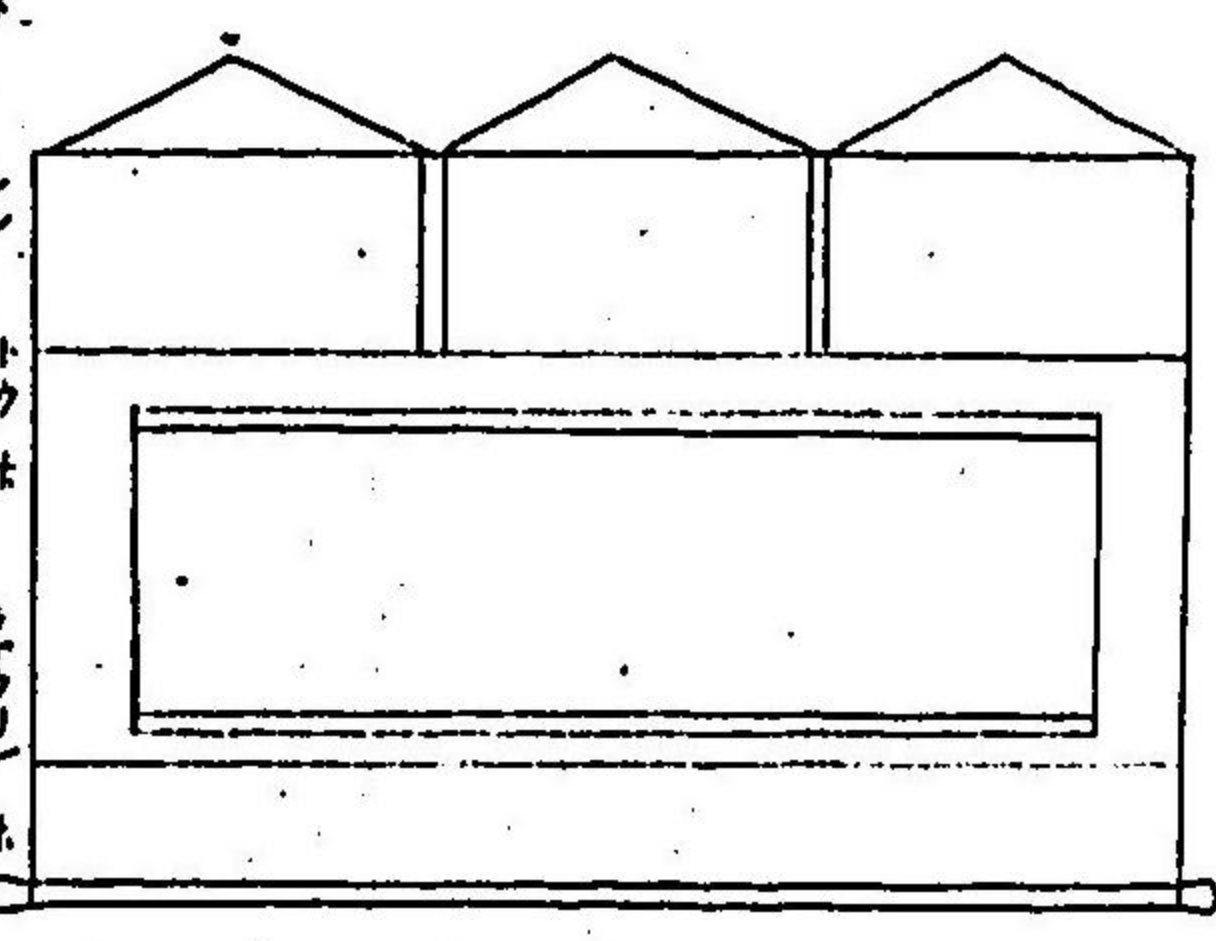
中ノワキ巾狭キヲ云フ

襖補

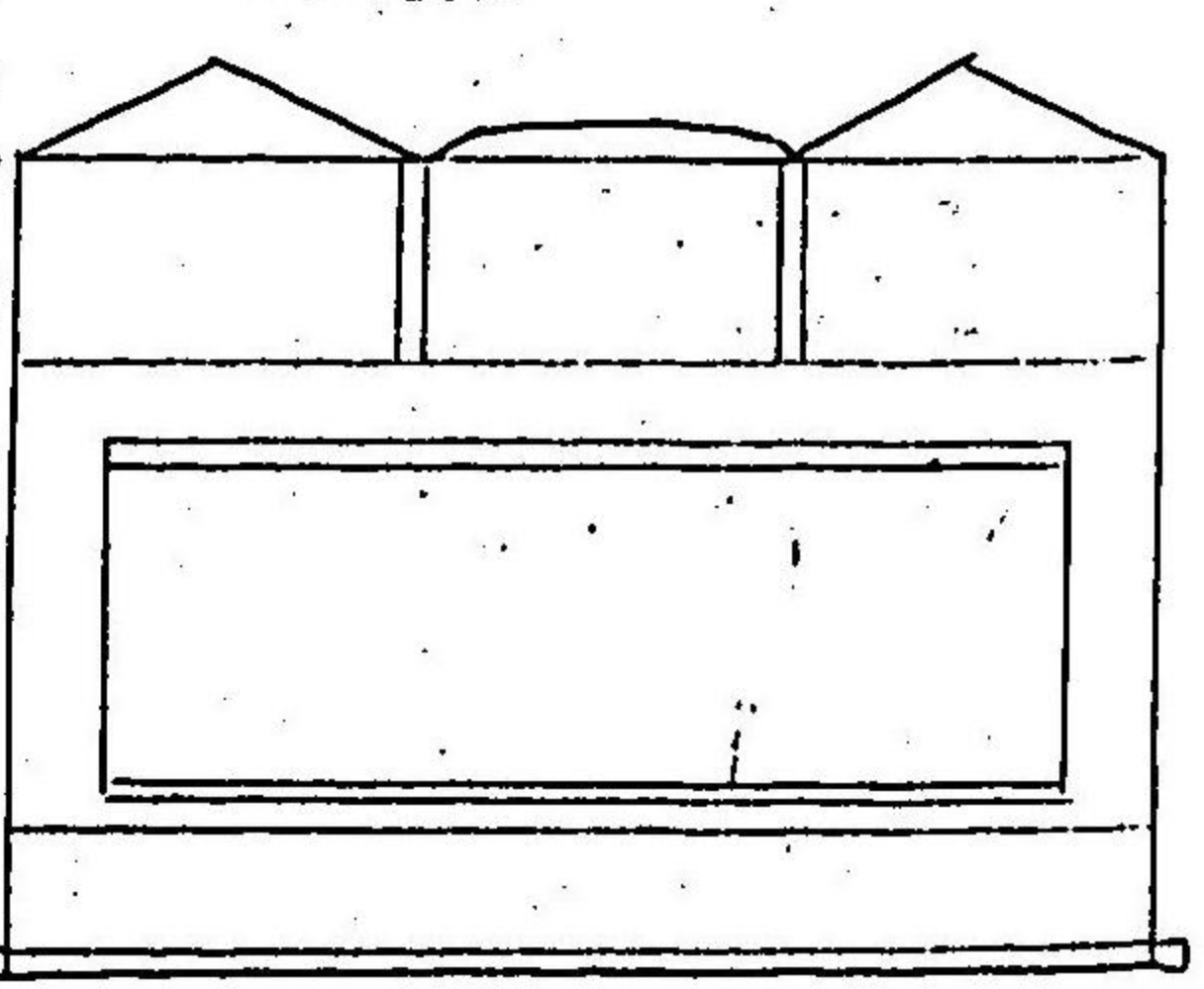


中尊又佛像ノ類ニ用

大横物三釘

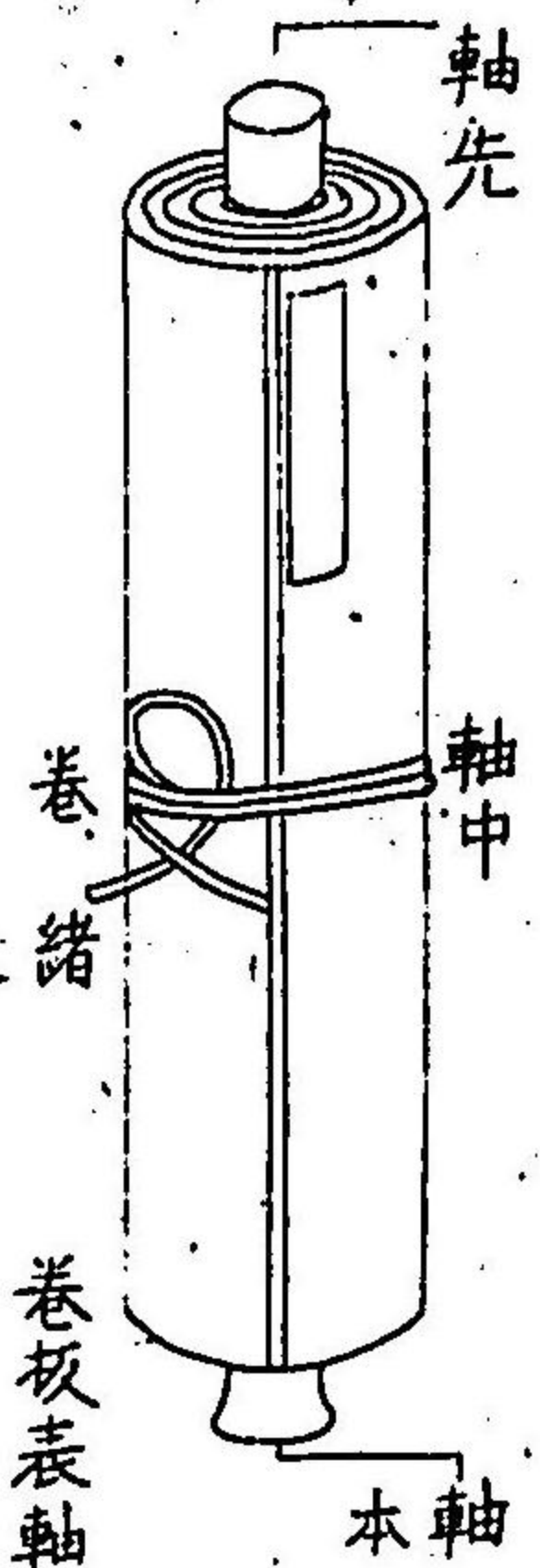


同三釘中ハツ



○襖補ハ真入橙補ハ行輪補ハ草ナリ佛像祖師像ノ外ハ襖補ニスル一ナシ橙補  
ヨシサレドモ表具ノ取合ニヨリ輪補モヨシ  
一文字 風帶 一文字ナシ 中 天地  
風帶ト一文字トハ同習ヲ用ユ之ヲ中風帶ト云ヘリ一文字ナシモアリ惣ジテ表具ノ  
事習ノ取合等吟味スベシ四幅對三幅對二幅對一幅物 豎物 横物 ソレ々表具  
ノカネワリアリ容易ニハシルシガダン

表軸 卷緒 掛緒 卷紙

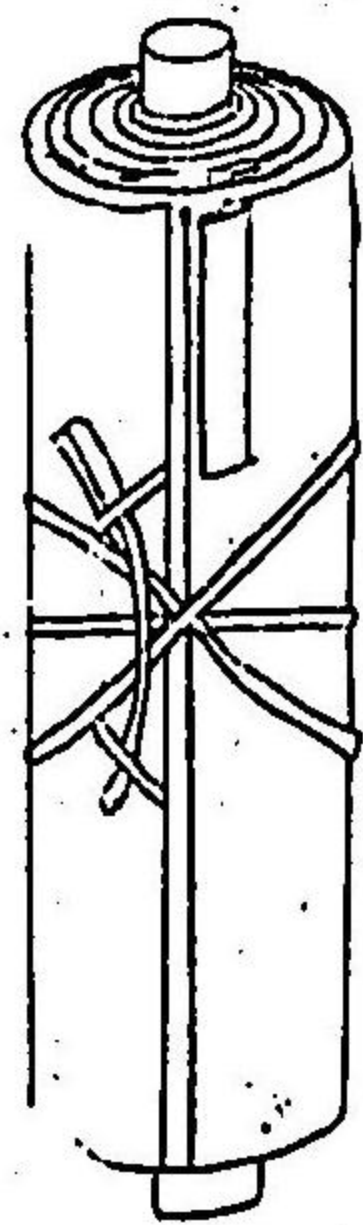


卷紙ハ美ノ紙ヲ用ユ年号又ハ表具師名印判ナドシテ置テモアリ名物ノ卷紙ハ客ヨリ乞テ見ルベシ

○掛様 卷様 卷緒 引様ノ事

掛様床ノ順逆ニ從ヒ卷緒ヲ勝手へ引ベシ 卷様ノ圖

三幅 對

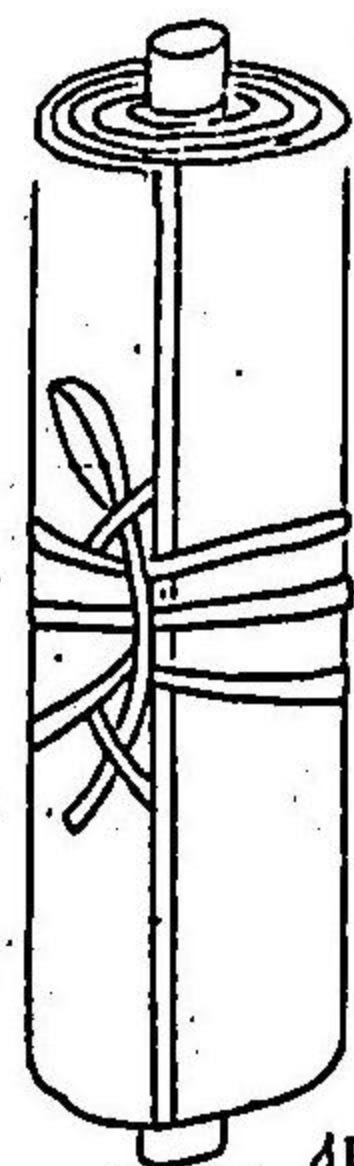


左

卷板ノ上ニテチカヘテ三卷ノヲ上ニス

中

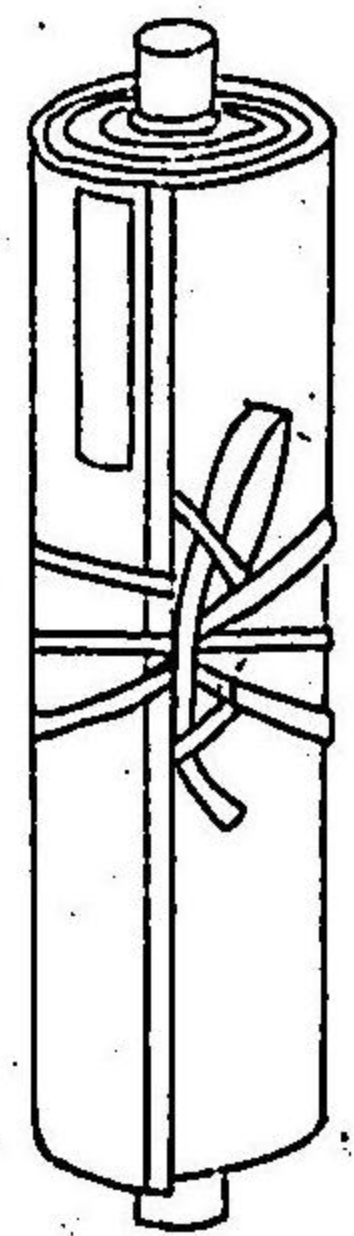
中下ヘケルハ三卷ノヲ上ニス



但一軸モ同ジ

右

中左ト替ル軸ヲ取直シテ外題



卷ヤウノ圖ノ如シ

○外題飾 外題押様

左右モクルハト卷テヨシ順逆心得サヘスレバヨキナリケ様ニ差別シテ卷オケバ三幅對ナド開テ見ズ凡中左右知ルハナリ但一幅モノハ卷ヤウ中ト同ジ

外題ノアル掛物ヲ掛ズシテ先カザリ置テアリ外題カザリト云フ小幅ノ物ハ床ノ入りニカザリ大幅物ハ床殿ニカザルナリ草卷小床ノ一幅カザリ卷緒ハ三幅對ノ中ノ卷様ナリ床ノ入りニ飾ルモノ床ノ順逆ニ隨ヒテ下坐ノ方ニ飾ル去レドモ又上坐ニ飾ルモ有リ秘事大幅ノ物ハ床ノ横ニ三分一下坐ノ方ニヤル逆床ノトキハ軸水ヲ上坐ニシテ外題文字ノ向キ宜シト云一説モ有レドモ床ノ順逆ニ從ヒ軸水モ下坐ニナスベシ外題ノ押様前ノ圖ニ示セリ

○順床 逆床

南面北面ノ書院方ニテハ六ツケ敷式法ドモアリ草庵ノ小床ニテモ順逆アルヲ云フニ及バス

○繪掛竹

矢筈ノクリヤウ別義ナシ長サ三尺バカリニテ宜シ

○花入

竹筒 尺八切 一重 二重 釣筒

水ニヒタシヌレ色ヲ用ユニ重筒ハ草庵ニ好マズニ重トモニ花ヲ生ケ又上ノ重アケテ下バカリニモ生ケ花ニヨリ蔓モノナド上バカリニモ生ル

籠

水ニシメス丁ナシ露モカハラヌ様ニスベシ下ニオク片疊床ニテモ薄板ヲ用ヒズ

瓢

籠同前ニテ水カクニカラス

青磁 古銅

別儀ナシ凡ソ銅ノモノハ草庵ニ好マズ四疊半相應ナリ去レドモ自然ニハ草庵ニモ用ユ

耳附

客附ヘ三分ヘヒホル心アリ故矣

舟

床ノ直中ニツル丁アリ出船入船了簡アルベシツノ鎖ノ方袖先ナリ惣ジテ名物ノ花ニナクテモ賞翫ノ花イレルニハ花ワビテ會釈テヨシ花入ニ相應ノ花心得ベシ

馬盥 馬手洗トモ

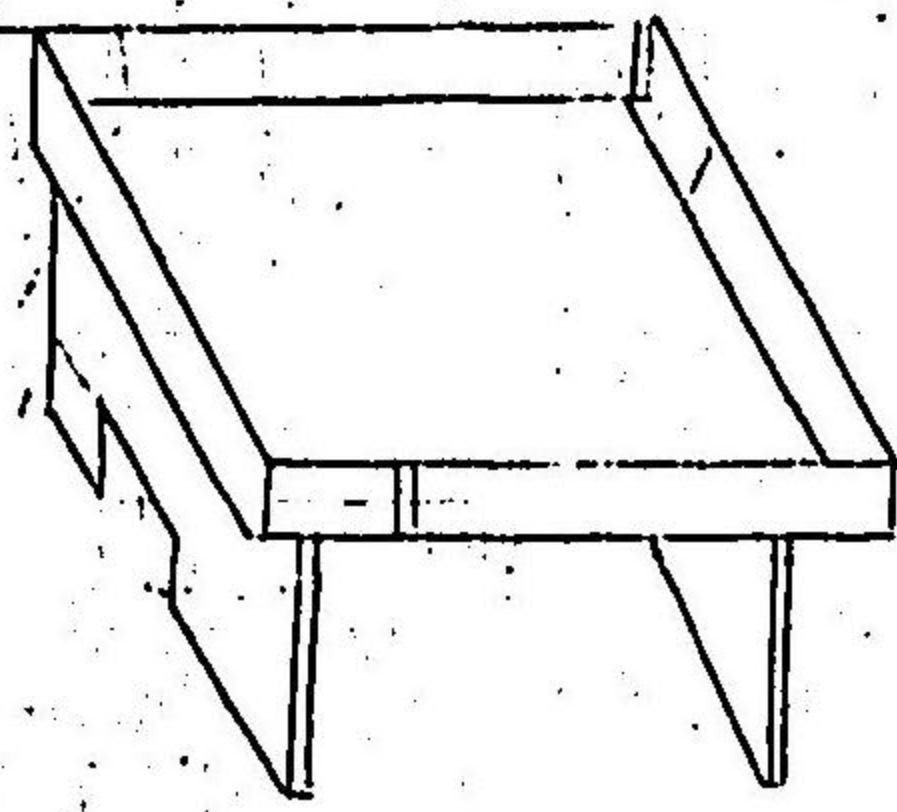
古絨部 或ル時野ガケニ出ラレシニ同行ノ内ヨリ花持參アル野ガケ故花入ナシ織部シテ勝手ニアリシ切溜ノ鉢ヲ持テ出テ水タバへ馬ノ盥ヲハツシハシノ處ヲ引タテ

鉢ノ内へ置テ花ヲ活ラレシトナリ花ハ桔梗トヤラン云ヒツタフ同行ノ衆中惑ニ堪ズ其頭ハ馬タラヒノ花入トテ專ハラ取ハヤシケル手洗ノ水指ヲ取テガヘテ馬盥ノ水サシト覺ル入アリ必左ニアラス

花折敷

小刀 手中 水次

足打折敷ナリ小刀手中水次等一具スベシ水次ハ燒物マタ銅 ヨシ尤客ヘ花所望ノトキノ入用ナリ

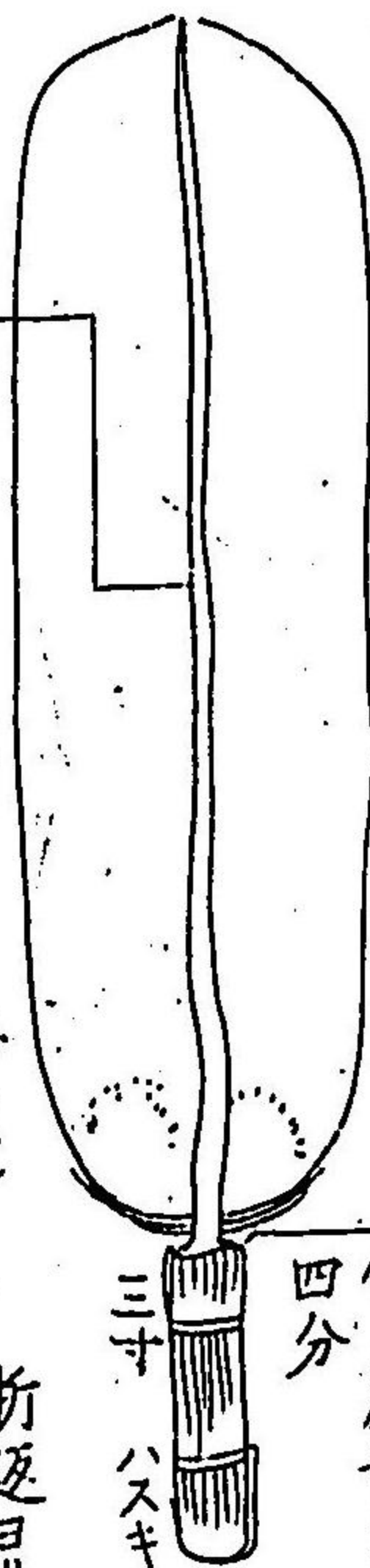


サシ豆 九寸五ア  
フチ高外リ 一寸  
足高 三寸八ア  
同ヨヨ 三ア  
同板ハ 三ア  
切カケ 三寸八ア  
タテ 二寸六ア

○羽箒

ツカネ緒 三羽 小羽  
ツカネ緒 大小アリ 草庵ニハ一段オモシロキナリ  
三ツ羽寸法図ニアリ

羽ノ堅羽サキマテ六寸七分



ウラオモテハニユルヤウニツナグベシ

羽ノキハ竹ノ皮キハマテ  
一分  
竹ノ皮切ロヨリマキメマデ  
四分

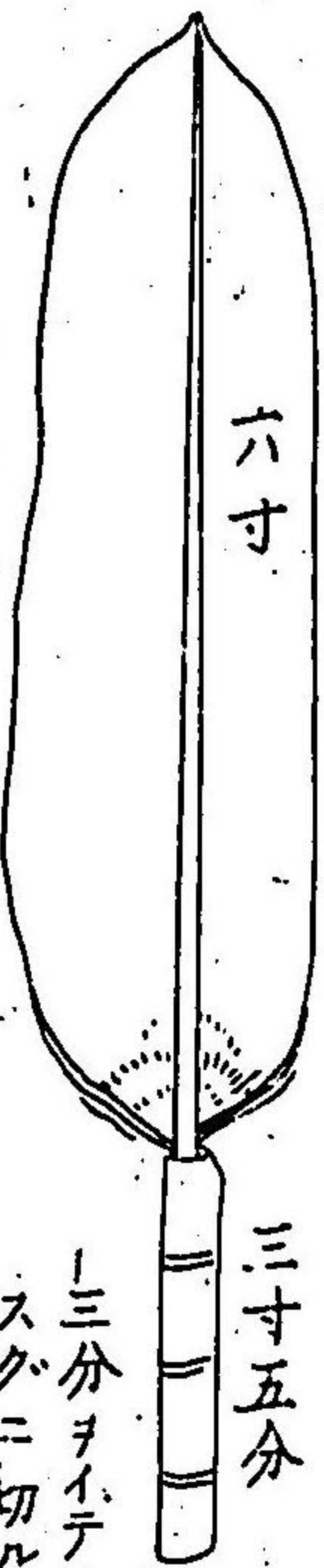
三寸 ハスキリ折返マテ  
一寸

折返ヨリ六分  
マキ目マデユイメアリ

○風炉ニテ用ユル一羽ハ

羽先 三寸五分 柄 四寸五分

○一ツ羽ハ鷹ノ肩ヨリ三ツ目四ツ目ノ羽ヨシ柄ノ処竹皮ニテ三三結ナリ  
ハシノ結目ヨリ三分ヨイテ竹皮ヲ折カヘサズニ直ニ切ルナリ



六寸

三寸五分

惣長サ九寸五分

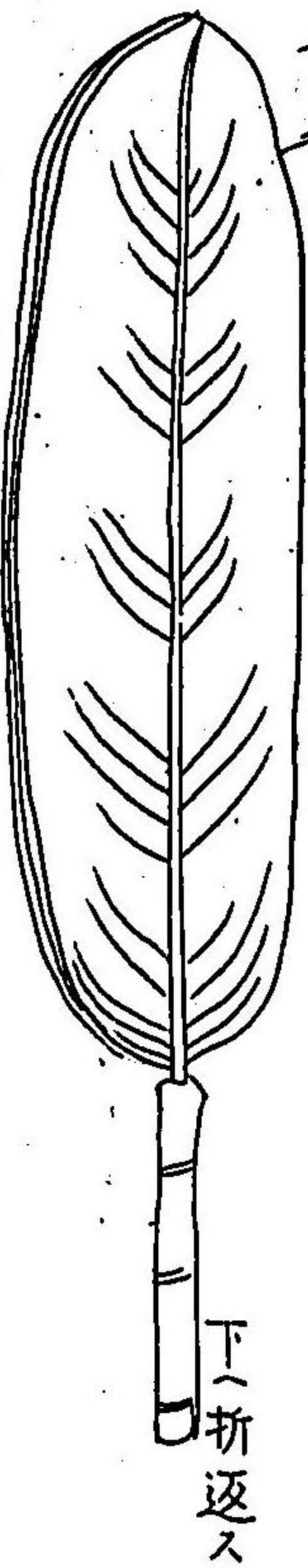
三分ヨイテ竹ノ皮ヲ  
スクニ切ル

○三ツ羽重ハ羽ノ柄竹ノ皮ニテ包 右羽ハ右ノ方左ノ羽ハ左ノ方ヘ折返ス

羽 五寸 柄 三寸 但シ二三ノ長短  
見合次第

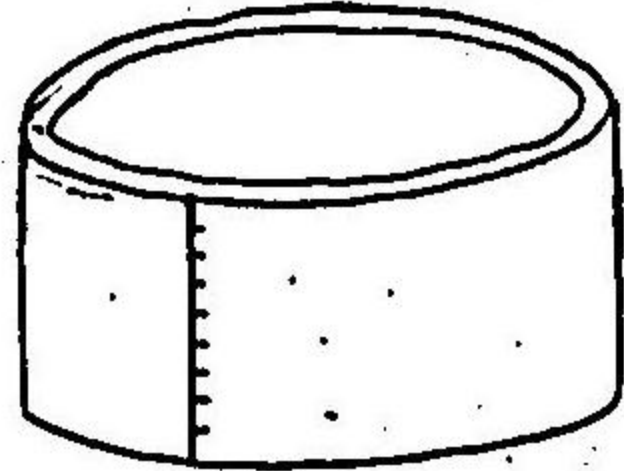
○五枚重羽ニハ柄ニ木ヲ用テヨシ 惣テ柄ハ竹ノ皮ヲ結緒ニ用ヒ又紙小ヨリニモヨシ

○尾ヲ用ヒタル箒ハ下ノ方ヘ折カヘスナリ



下ヘ折返ス

○建水面桶 水杉



高サ外ノリ 二寸六分 外ノリ 廣サ 五寸七分 板厚 一分ヨ  
ソコ板 フチニ入 五厘  
表合目ヨリウラ合メハツレマテ 四寸  
表カワトデノヨリウラ合メハツレマテ 三寸六分  
表板ハツレヨリカワメマテ 一分  
トチメ 十六カハノハバ 一分ツヨシ

トデ目我前ニスヘシ客ツキニスル一本意ナラス

○袋棚

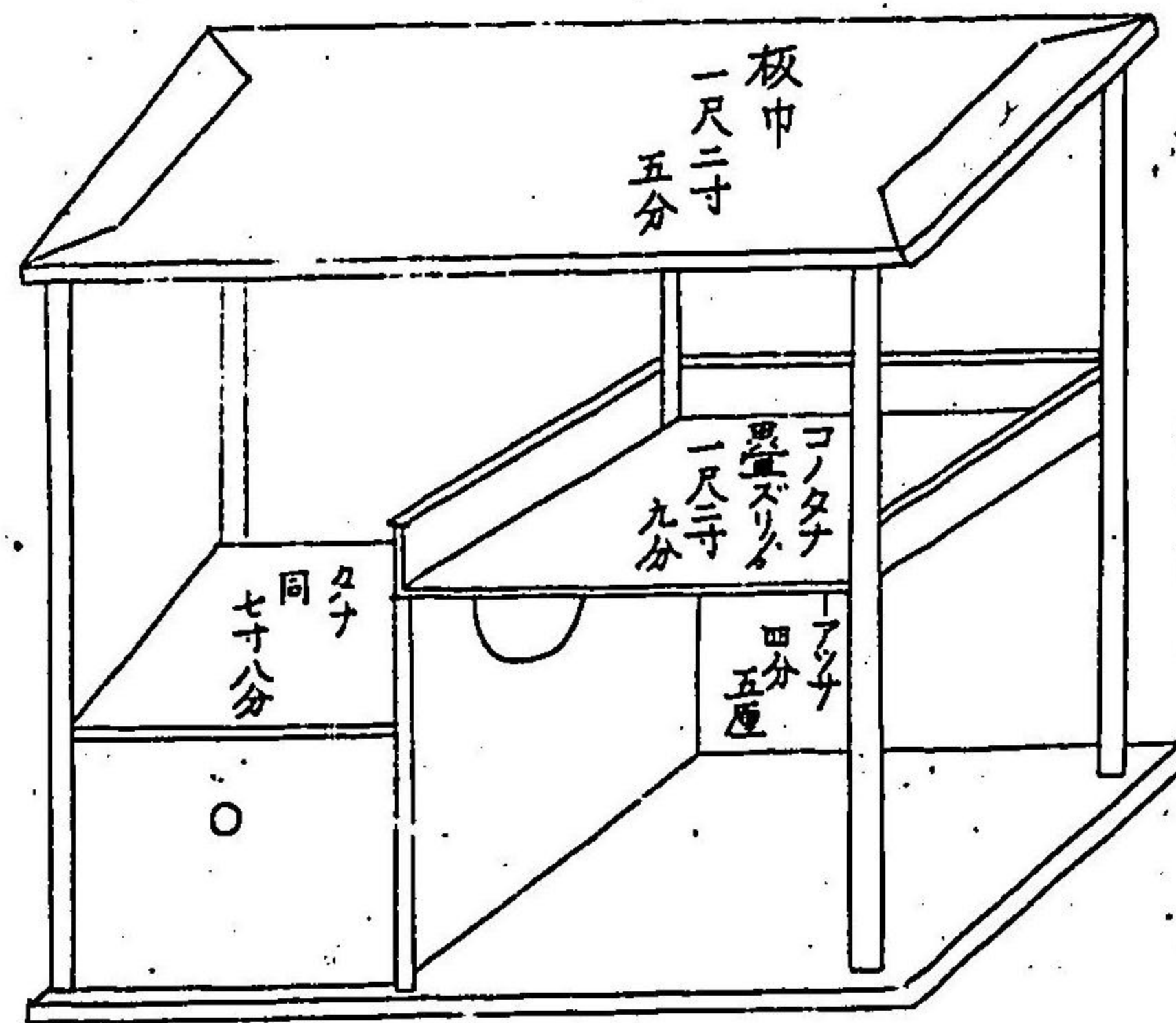
袋棚ハ紹歌ニ初ルコノ後置棚數多出来スト云ヘド袋棚ニ過タル棚ナシカネ  
万ニ謝ヒテ葦子及葦ニモ劣サル棚ナリ紹歌ノ歌ニ  
わくのきぎぎ大黒庵をといふゆゑなり  
袋棚ハ紹歌ニ初ルコノ後置棚數多出来スト云ヘド袋棚ニ過タル棚ナシカネ

ケ様ニ秘藏シテ常住ニ用ヒラレシトナリ

鷗ハ京都室町四條ノ北野町エビスノ社ノ隣ニ住居セシユエ蛭子大黒ハ並ビノモノ  
ナリトテ大黒庵ト自筆ニ頼ヲカキテ掛ラレシナリ袋棚ノカザリ品々アリ葦子ノ  
心持ヲ以テイクツニモナル一ナリ書院溜ノ間平坐敷ニモ用ユ四畳半ニハ袋  
棚モリツケナリ木ノ目見ユル様薄々トヌリタルト木地ト両様アリ薄塗手前ノ  
時少心持チアリ書院ナラバ相應ナリ○飾リヤウハ既ニ初編ニ出セリ

○袋棚寸尺

袋棚既二初篇ニ出スト雖尺寸尺聊大ナルガ故  
教奇者ノ為ノ再ビ出ス



高サ墨ノタチヨリ上板ノ上バ追ニ尺  
長サ二尺五寸五分  
柱太サ七分イトメシ  
左右フリ分ケ之

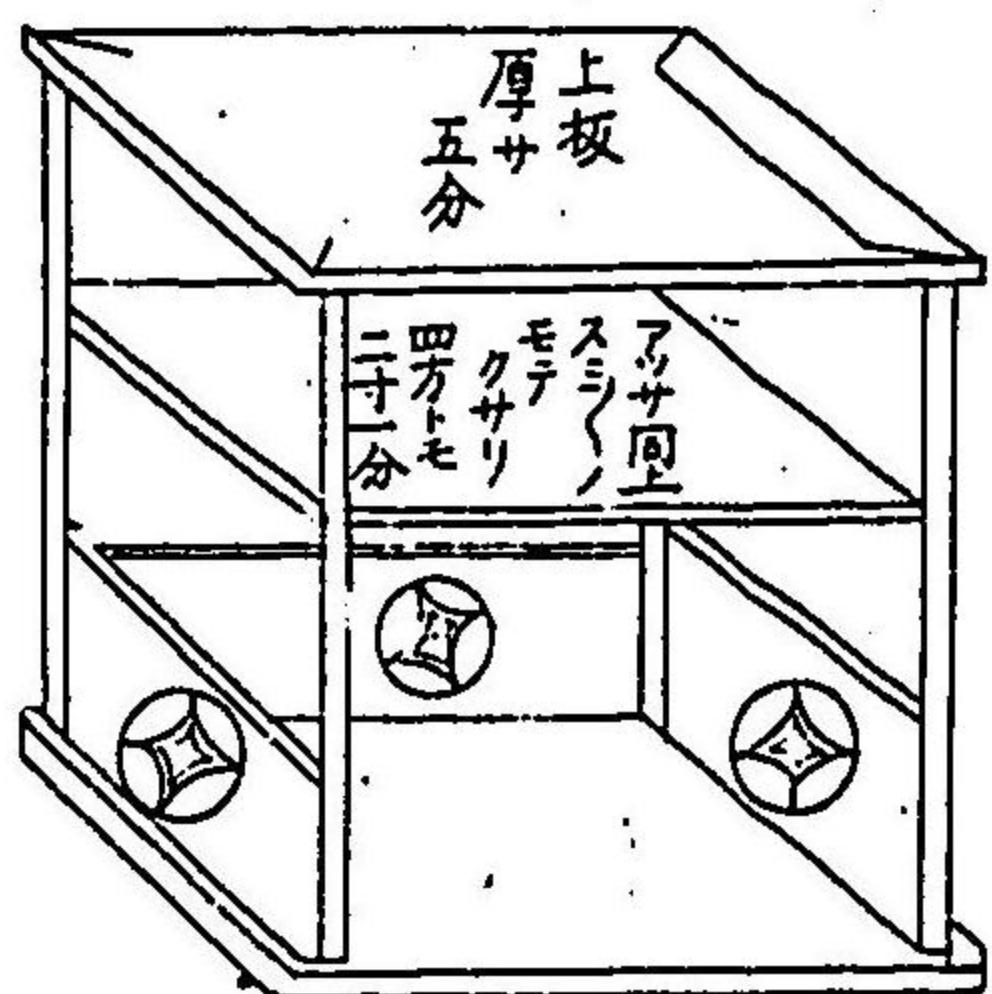
柱根  
此間三分

カツラスカシノ板アツサ五分  
惣体棚ノハンバミ九分

袋ノ戸 高サ 六寸八分  
横 一尺一寸四分  
厚サ 三分  
ツマミ下ヨリ 四寸二分  
同長サ 五分五厘  
同丸ミサワタシニ分五厘

○城楼棚

高二尺中一尺一寸横一尺三寸



下板厚サ八分 コシ板高サ四寸二分  
中棚墨ノタチ上バマデ一尺三寸 柱ノ太サ七分四方  
上板中下トモハンバミ一寸

三分

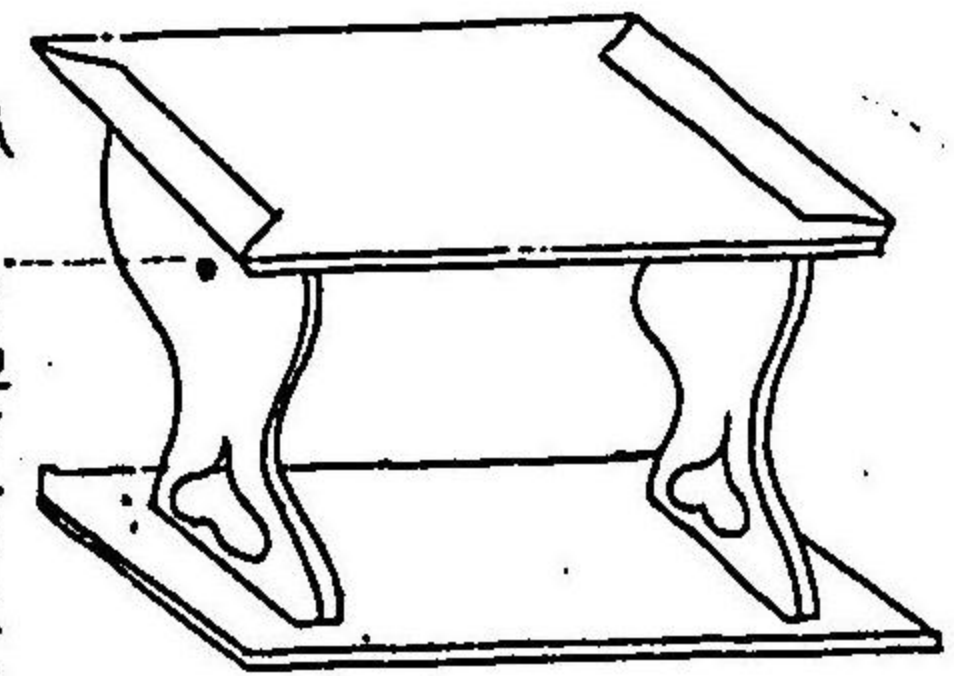
カラトシ

右ハ天王寺屋宗及ノ好ナリ依リテ宗及棚トモ云  
ヒ亦ハ袋棚ノ半分トテ半切棚トモ云ナリ所作ハ  
袋棚ノ心得ニテスム袋棚モ城楼棚モ中ノ棚ニ  
欄干ナドシタルハ香方殿ノ好ト云ヘリ

○棚板

袋棚ノ地板ニテ畧ノ物ナリ利休ノ好ニテ出来ト云ヘリ四ノ柱カブラ板ノホドヲ除タル  
ト除ザルノ二色アリ何レモ相ノ白木ナリ又ウスヌリヲモ用ユ

○洞棚



高サ六寸三分ノ内  
上板四分 下板五分  
入一尺八寸 横中  
横板ノ外 左右八分ヅ、  
入前後トモ一寸ヅ、

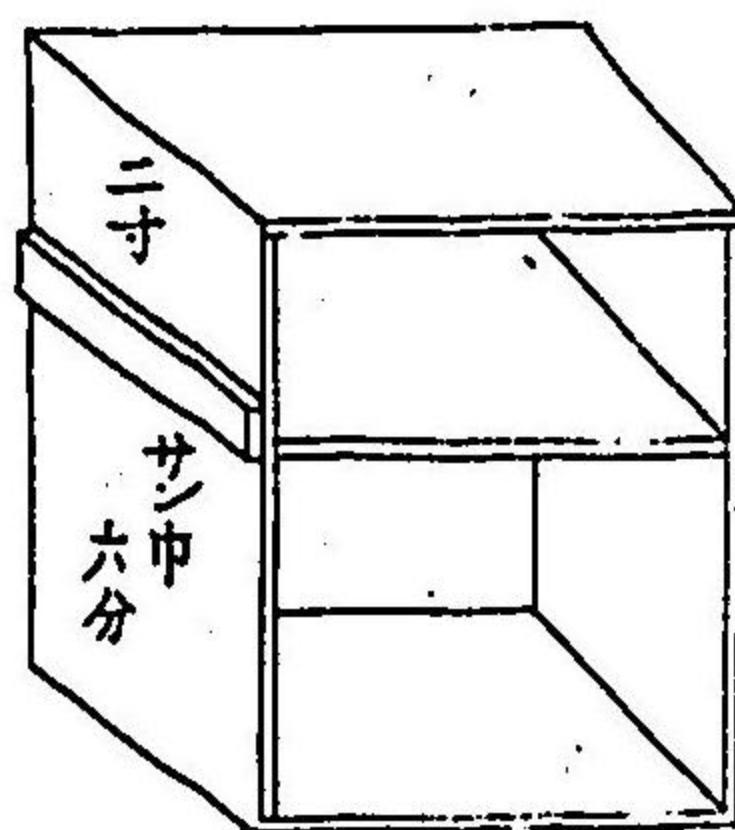
右洞棚ハ今井宗久ノ好ニテ大林和尚洞棚ト名ヲ  
付ラレシナリ畧間ニモリツケナリ棚サキノ一ツ物口傳  
此図ハ畧ノ寸ナリ京疊ニ合セテコシラヘタル物ナリ

○利休簞笥

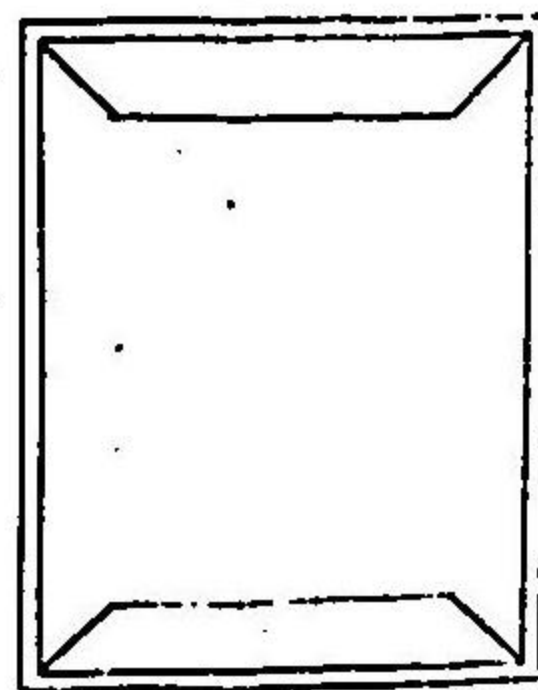
利休小田原陣ノ時持參セシト云フ了中ノ棚ヲ先へ出スヤウニシタルト又仕付  
ニシタルト両様アリ

此処竹釘ニテ羽笥  
柄杓カケル内ニテモ  
外ニテモクルヒカラズ

内ノ圖



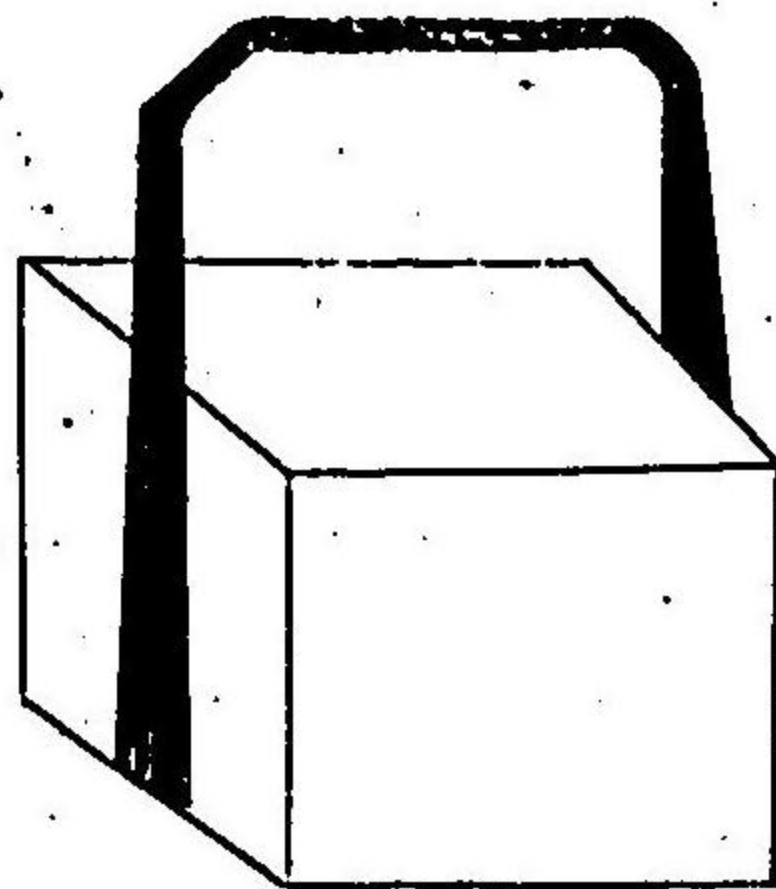
錠オロシ  
真向ニ  
見タル圖



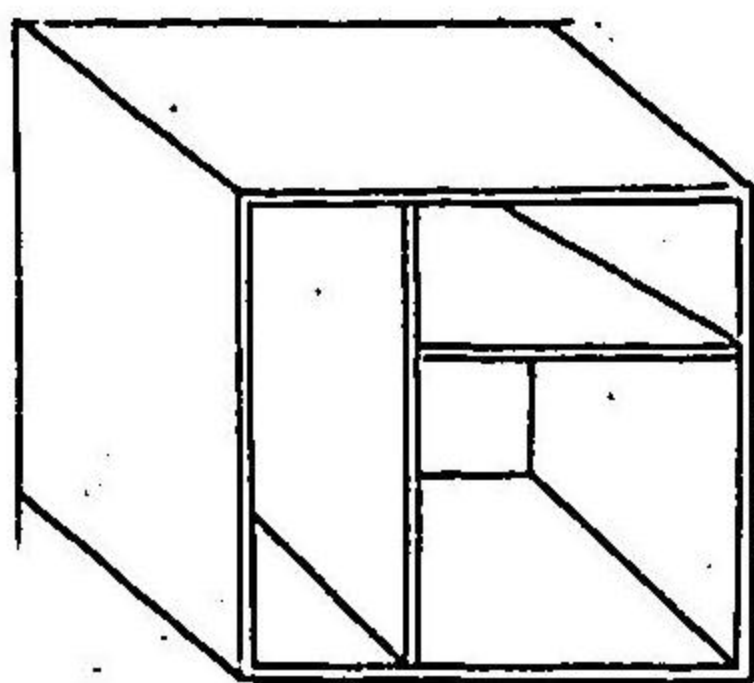
高サ一尺四寸三分  
横外リ一尺一寸五分  
入内リ八寸九分

○錢屋宗納簞笥

錠ヲ  
オロシ  
タル圖



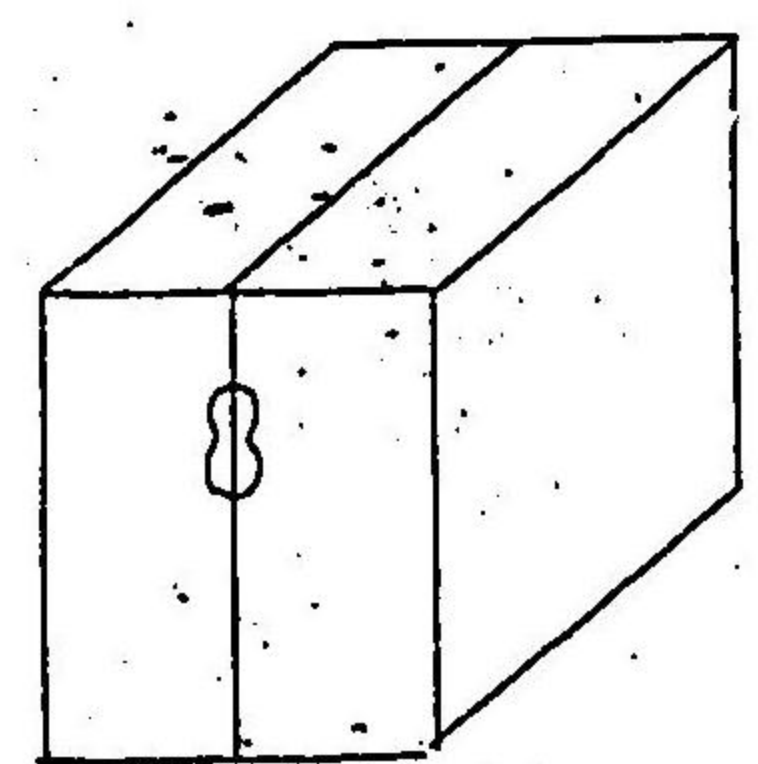
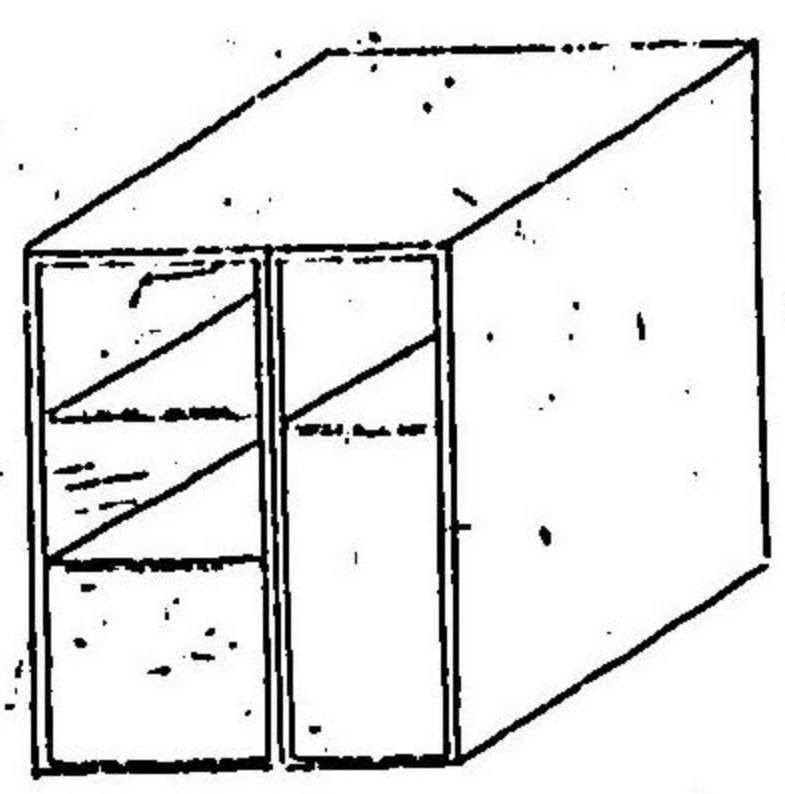
内ノ圖



宗納ノ所持ニシテ唐製ナリ茶筭筒ニ用テ常住爐辺ニ置タル名物ナリ其後利休  
宗久ナドモ塗物ノ唐筭筒右同前ニ用ヒラレタリ今モ唐ダンス間コレアルモノナリ

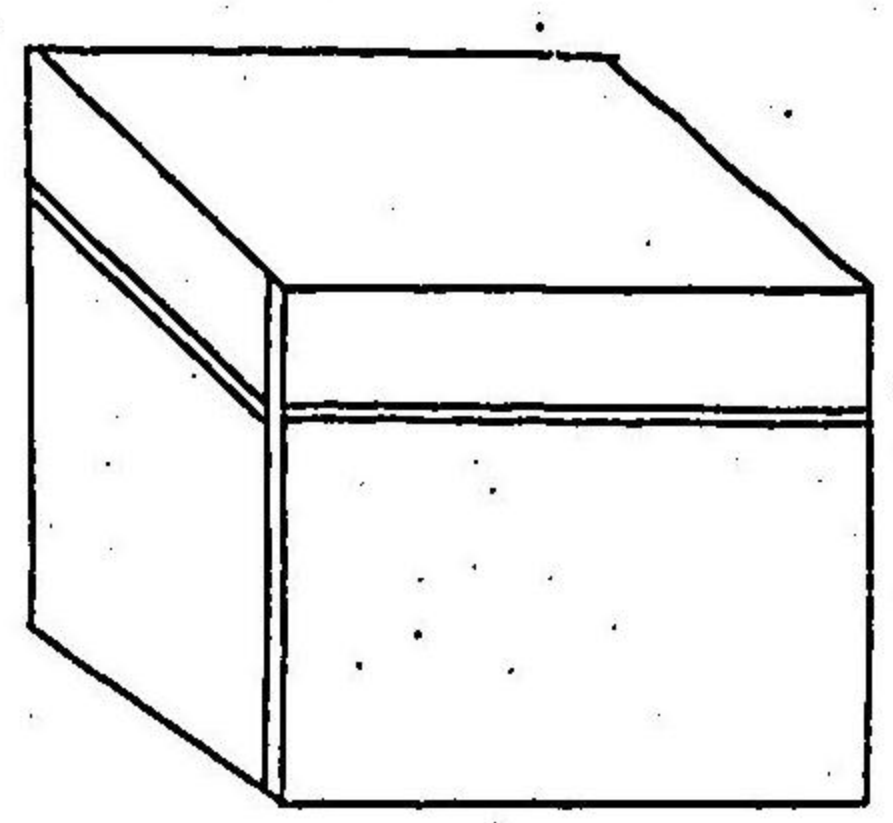
○割筭筒

初坐ニハ前ヲ合セテコハセ金物ヲウケ上ニ炭取ヲカサル後坐ニハ口ヲヒラキ中ノ  
架一方ニ二重アリ一方ニハ一重ナリ右一重ノ下ニ水指ヲ入テク此ノ架板ニ柄  
扱ノ柄形ヲクル之今一方ノ架ニ茶入茶椀下ニ水コボシ入ル

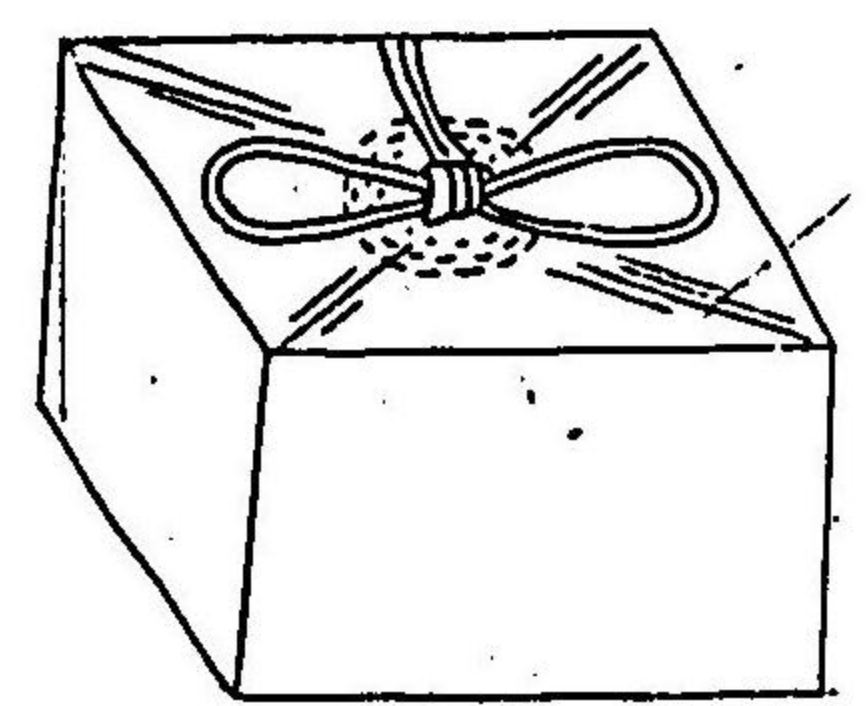


○茶箱 利休好

桐白木



袋



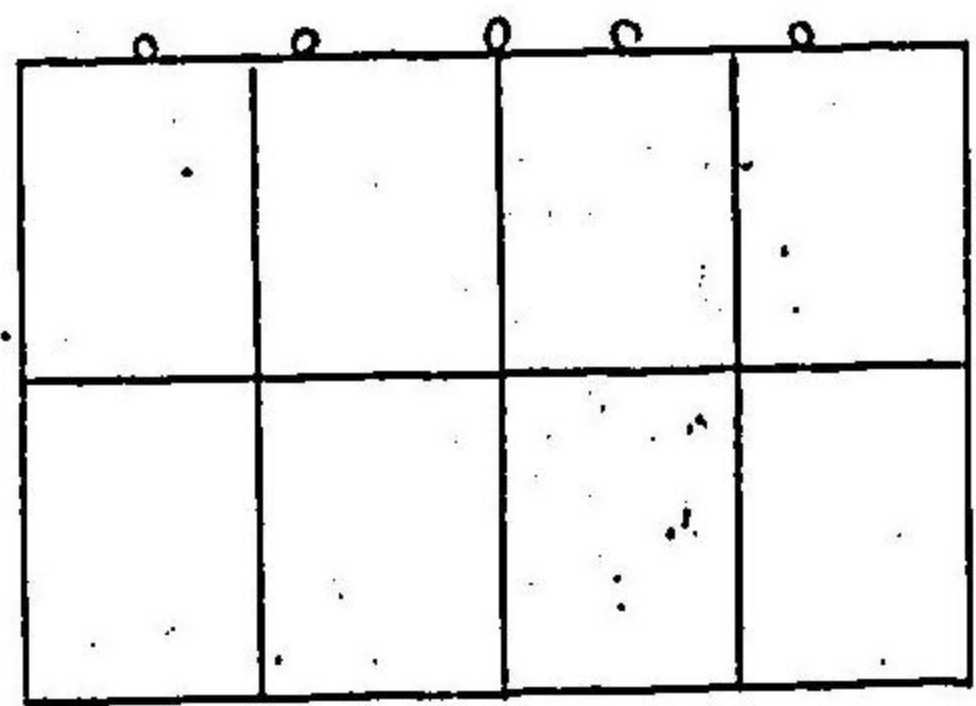
底ヨリ蓋ノ上ニテ  
惣高サ四寸二分  
同フタノヤラウ  
外ノリ九分  
横長サ七寸二分  
タツ同 四寸九分  
内ノフカサ  
三寸八分

袋唐島木綿  
袋ニ長緒付  
利休紫ノ太會ニ  
用ヒタル  
袋ノ寸尺箱ニ  
相應ス

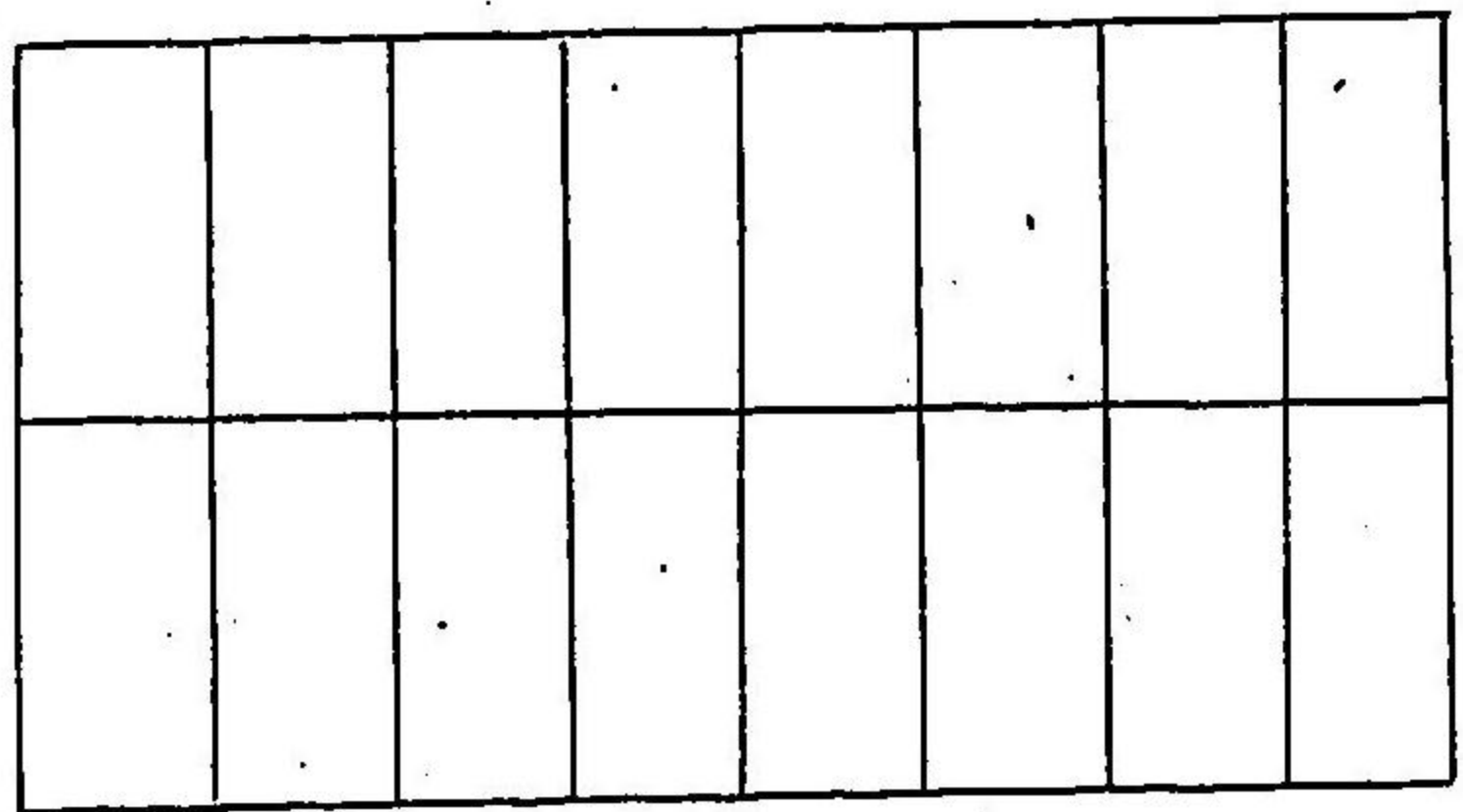


○臺子大金小金之割方

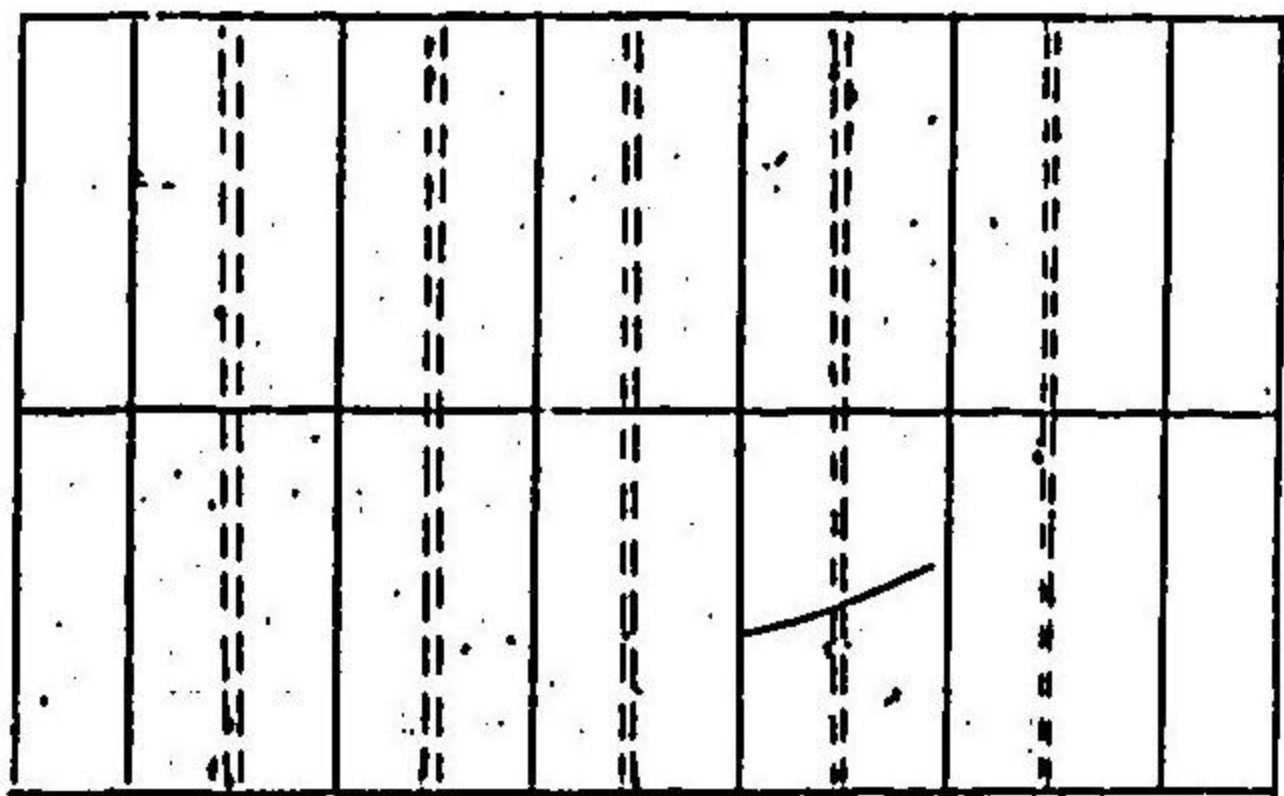
三ツ折ノカネナリ  
小カネノ大底ナリ



今時ノ人大方コノカネヲ用ユル  
故相違ノ一出来ナリ小ガネ  
大ガネ差別ヲ弁ヘザル故ニ  
小ガネ坐敷ニテ此ノ三ツ折人



此カネハ上ノ三ツ折ノカ  
ネニ間ノカネヲ入タルモ  
ノナリ同支ナガラ之ハ  
間々ニ大カネト合ガネ  
ナリ此故ニ却テ差別  
ナク心得違ルナリコレ  
小臺子ノカネニテ大臺  
子トハクヒ違ヒ多シ



五陽六陰ノ大カネ大臺  
子ノ本式カネナリ可秘  
々々

此カネ秘更ナリ本カネ之

此カネハ上ノ三ツ折ノカネニテ  
大カネノ本式カネナリ可秘  
々々  
能ク心得違ルナリコレ  
小臺子ノカネニテ大臺  
子トハクヒ違ヒ多シ

七月五日

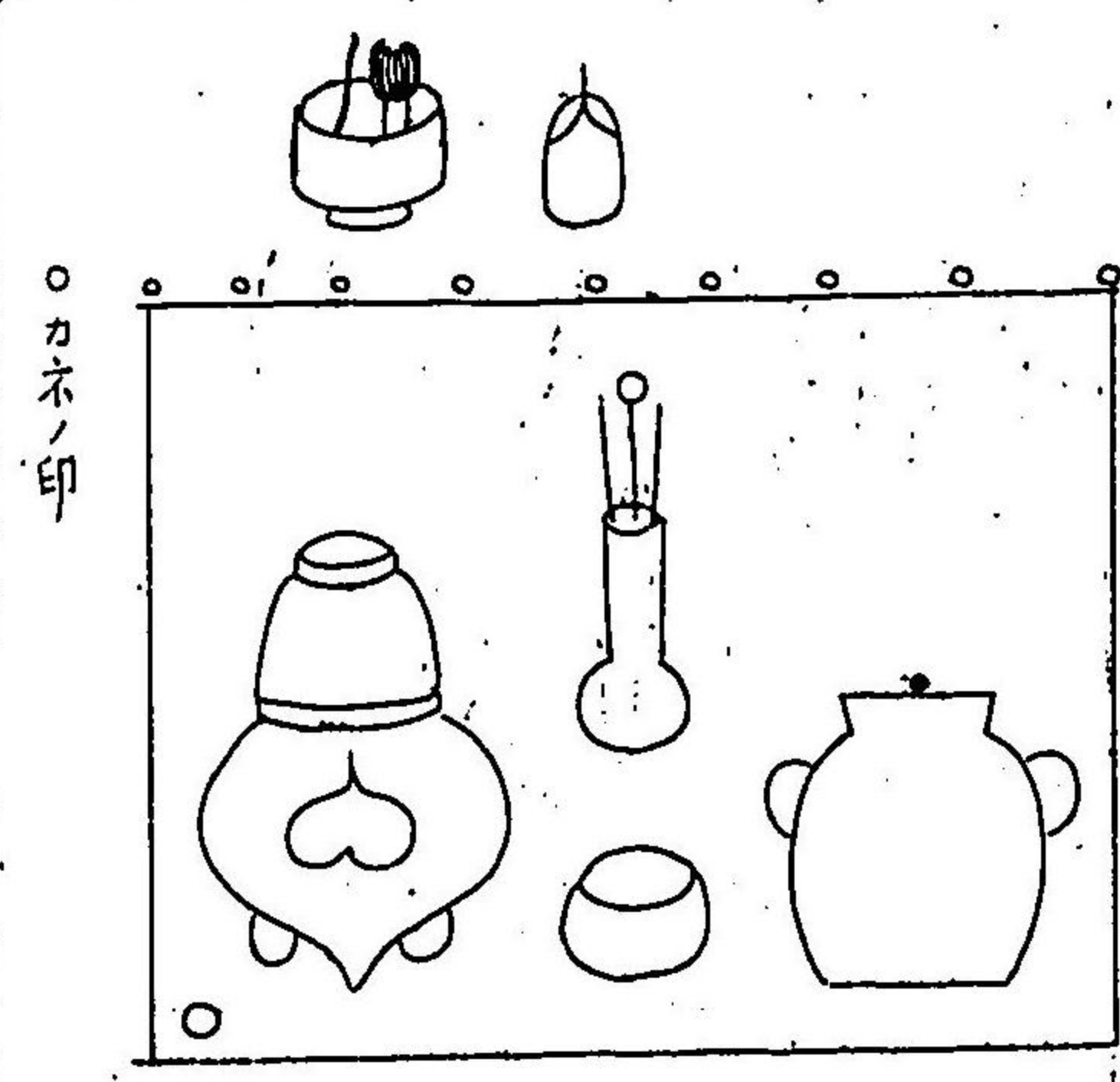
宗易

任宗堂書

透棚大床書院ワヒ座敷モトハ臺子ノ五ツ  
カ子ナリ小座敷モ千盞敷モ物敷ノモトハ  
臺子ノ七ツ組ナリ

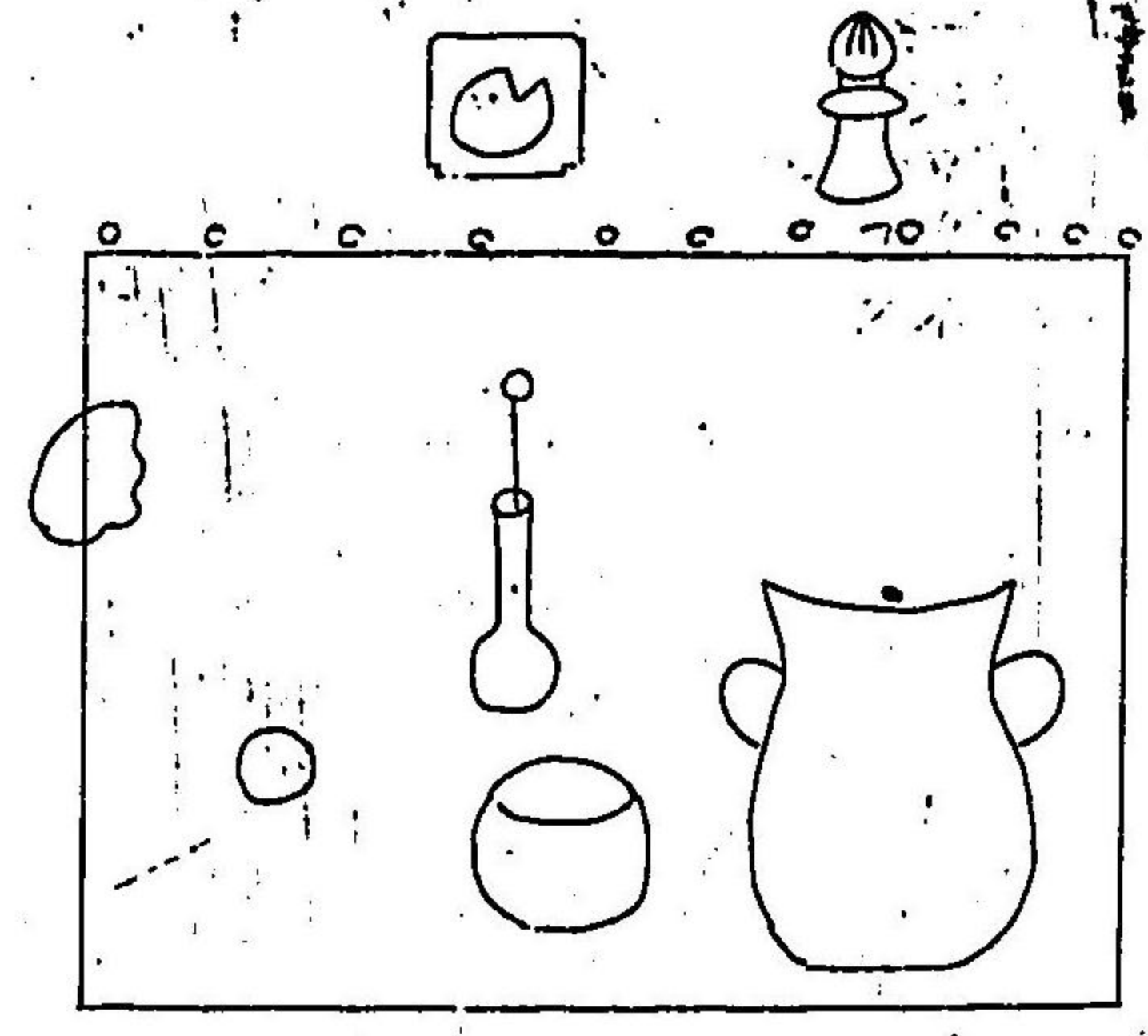
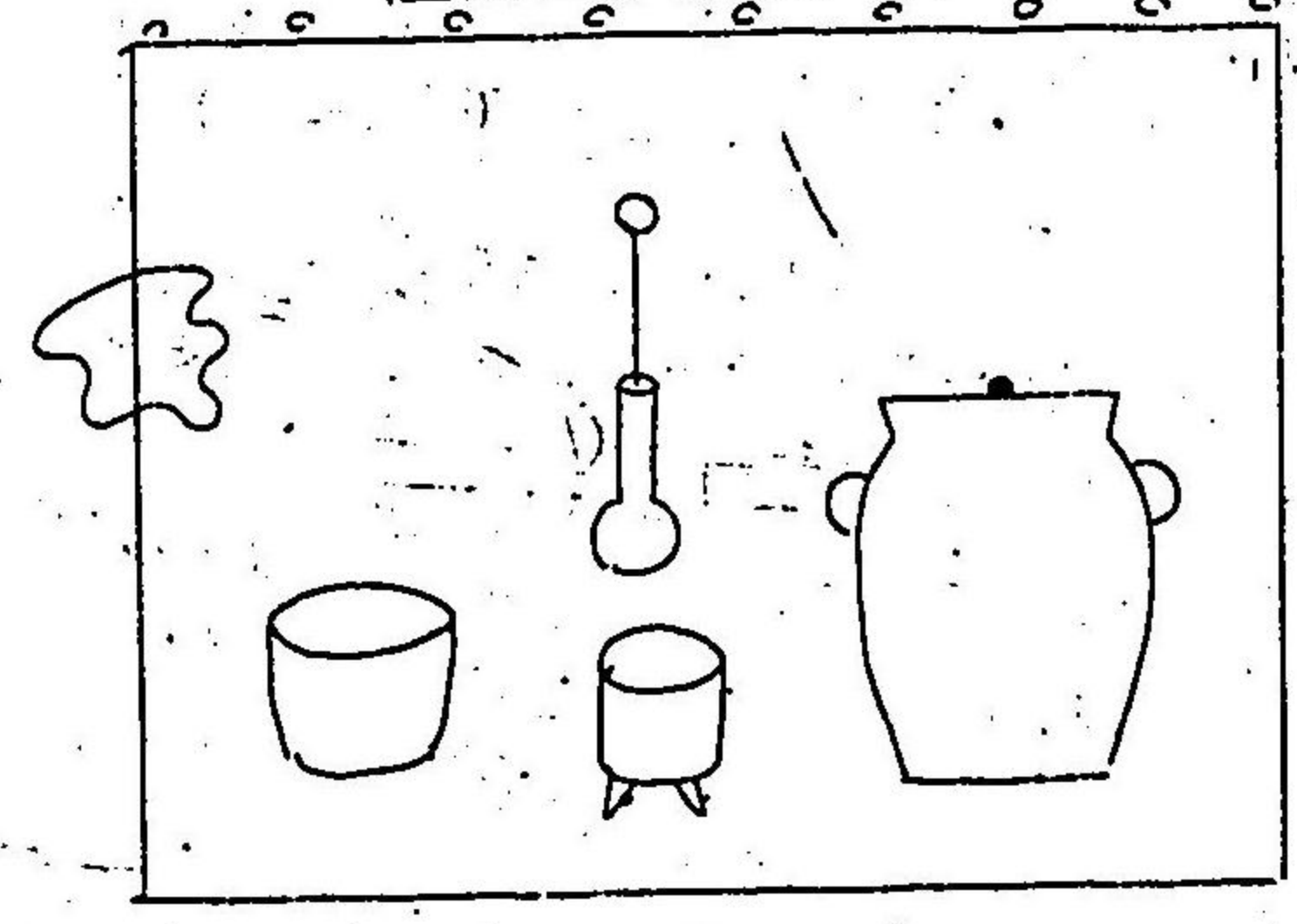
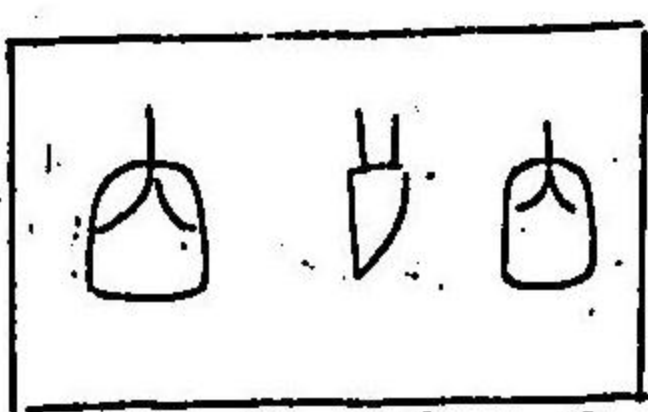
小臺子七ツカネ道具飾無別儀

小葦子ノ長板イナカ間ニハ  
 ヨシ合ナリソレユヘイナカ衆小  
 葦子好マル、尤ノイナリ京間  
 ニ小葦子オクトキハ左右疊  
 ノ目ニツツマルミシ

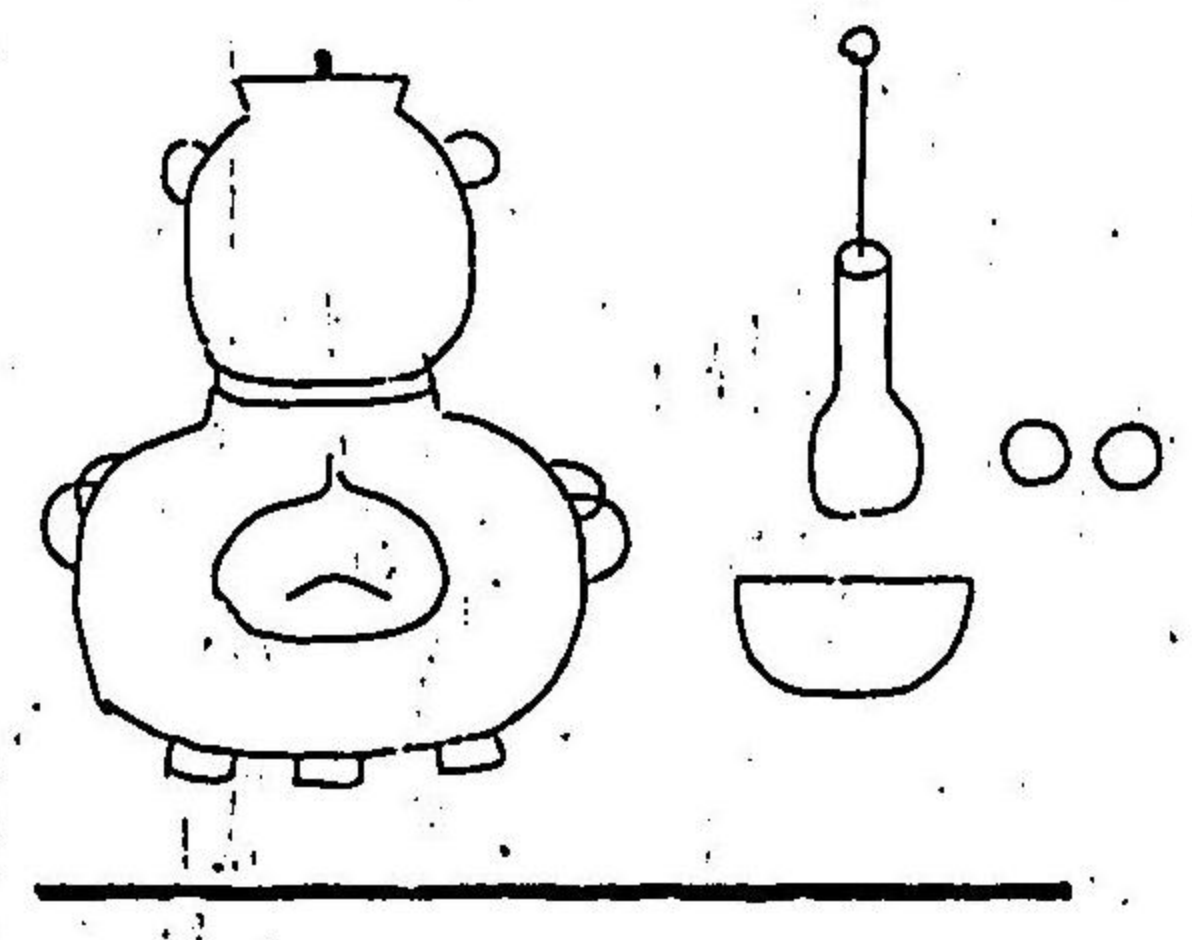


○カネノ印

弓葦子  
 七ツカ子  
 ヨシ



中板



一 臺子ハ栄花結構ノ式ナレバ万疎略有ル間敷候是茶湯ノ極真ニテ法式ノ根本ナリ  
 飾ニ真行草ノ三段アリ替古タリトモ俗ハ上下法躰ハ袈裟衣十徳ホニテ取扱ヒ可申候  
 人前ニテハ猶更臺子ノ所作ノ日衣ナドノハタラキ努ムアル間敷候貴人高位ハ装束素  
 袍ナドニテ被進候長袴常ノ上下サヘ略儀ノナリ東山殿ハ御手ツカラ被進候ニハ太  
 方狩衣ヲ被召召云誠ニ殊勝ノ御事ナリ  
 一 臺子ノ所作真ナリトテ堅クナルハ悪敷イカニモ寛カニ大ヤウナルガヨシ  
 一 身ガマヘハ入々ノ脊ニ依ッテ少シツノ心得遠近有ルベシ  
 一 臺子ノ風炉ニ灰ツギ候トテ見物ハナキ丁ニ候  
 一 香炉飾リ有ラバ炭ツギタル時ノ風炉ニハ香タク丁用捨アルベシ  
 一 源氏源平十種宇治小鳥煙クニ等ケ様ノ香方香會ノ時ハ臺子ニ飾ル事ナレ  
 進棚ニ飾ル事ナリ  
 一 臺子サキノ屏風ハ二枚扱六枚何レモ用ヒ候東山殿ニテモ二通御用ヒ候何レモ  
 金地沙子地或ハ雲引等ノ無地或ヒハ能書ノウチ付書和歌ナドヨレト  
 繪ハ掛画又繪ノ間サシ合丁多キ故不好  
 一 屏風ノ高サ天目ヲ臺ニ載テ飾リタルガ見ヘヌ程ニスベシ  
 一 臺子ニテハカネノ物ナラテハ水指拵立コボシ蓋置トモニ不用候東山殿ノ青地  
 御水指ハ子細アリテ飾レ候ドモ少ハツル〱習申丁有リシト空海相傳申候  
 一 臺子ノ上ノ板ヲ天井板上段ノ板下ノ長板ト云フナリ  
 天井地板ノ名ハ天地ニ表シテ陰陽ノカホヲ取サバク本意トモ云一理アリ然レバ大  
 臺子ノヲ天井地板ト云ヒ中臺子ノヲ上段長板ト云テ可然カト宗無ノ申上候  
 一 臺子柱ノ名

●相手柱 ●客柱  
 又見付柱

●隔柱 ●勝手柱

一 弓臺ハ臺子ノ風炉ヲ除ケタル者ナリ弓臺ノ時ハ書院臺子ノ飾リナド臺子ヨリハ略  
 勿論ナリ又佗坐敷ノ道具ニ取合スルハ心得違ヒナリ  
 一 弓臺ノ柱モ客柱勝手柱ト云フナリ惣ジテ臺子モ坐勝手ニ依テ左右ノ名違ナリ  
 一 弓臺ニ長盆飾ル人アリ無理ノ所作トモ云ヨントセス中盆ニ下ヲ用ユル丁尤ナリ  
 一 弓臺ノ飾所作共ニ臺子ニテ事ズミ別條ナク候故圖數々不記之  
 一 中板ハ能阿弥ノ作意ナリ桃尻トカヤ云板立耳口ト申コボシ臨濟ト云印ノ蓋ヲキ

156  
10  
82

茶式湖月集四編上畢

此三品所持有リシカドモ此名物ニ一具スベキ水指ナシ蓋子ニカサルベキ様ナシトテ無念  
 ニ思ハ數年空敷存ラレニ或時空海若キ時右京ト申ケルカ能阿弥ノ獨言ヲ聞テ能阿  
 弥エ不似合ノ脚心ツカヒト覺エ候何トテ蓋子ノ長板ヲ水指ホド切ケ飾ラレ候ハズヤト  
 申ケレバ能阿弥手ヲ拍テ奇特ノ了ヲ申者哉トテ則チカネニ合セテ切リ中板ト名付テ飾ラ  
 シトナリ然レドモ風炉釜心ニ叶ハズトテ未タ客前ニ出サズ様々心掛ケ脊高ト云フ釜ヲ求  
 メ備筑前國芦屋ト云フ処ニ山鹿左近ト申鑄物師名譽ノ上手ナリシニ鉄ノ風炉ヲ鑄サセ  
 中板ノ飾リ十分ニ調フルトナリ其已後東山殿御物ニテソセウノ扱立合子ノ宗シ夜学ノ御  
 子ト云蓋ヲキ車軸御釜小朝鮮ノ風炉此分ヲ飾リケルヨリ世上ニ中板ハジマリテ用ヒ申  
 一ナリ畧ノ物ナレドモ名物ヲ揃テ飾ル故所傳多シ夫レ故ヲ蓋同意ノモノナリ  
 一中板ハ書院クサリノ間平坐敷共ニ用エ四疊半真ニ夏ノ會々ビク用ヒラレシナリ

南坊

宗易

156
10
82

東京圖書館

和書門

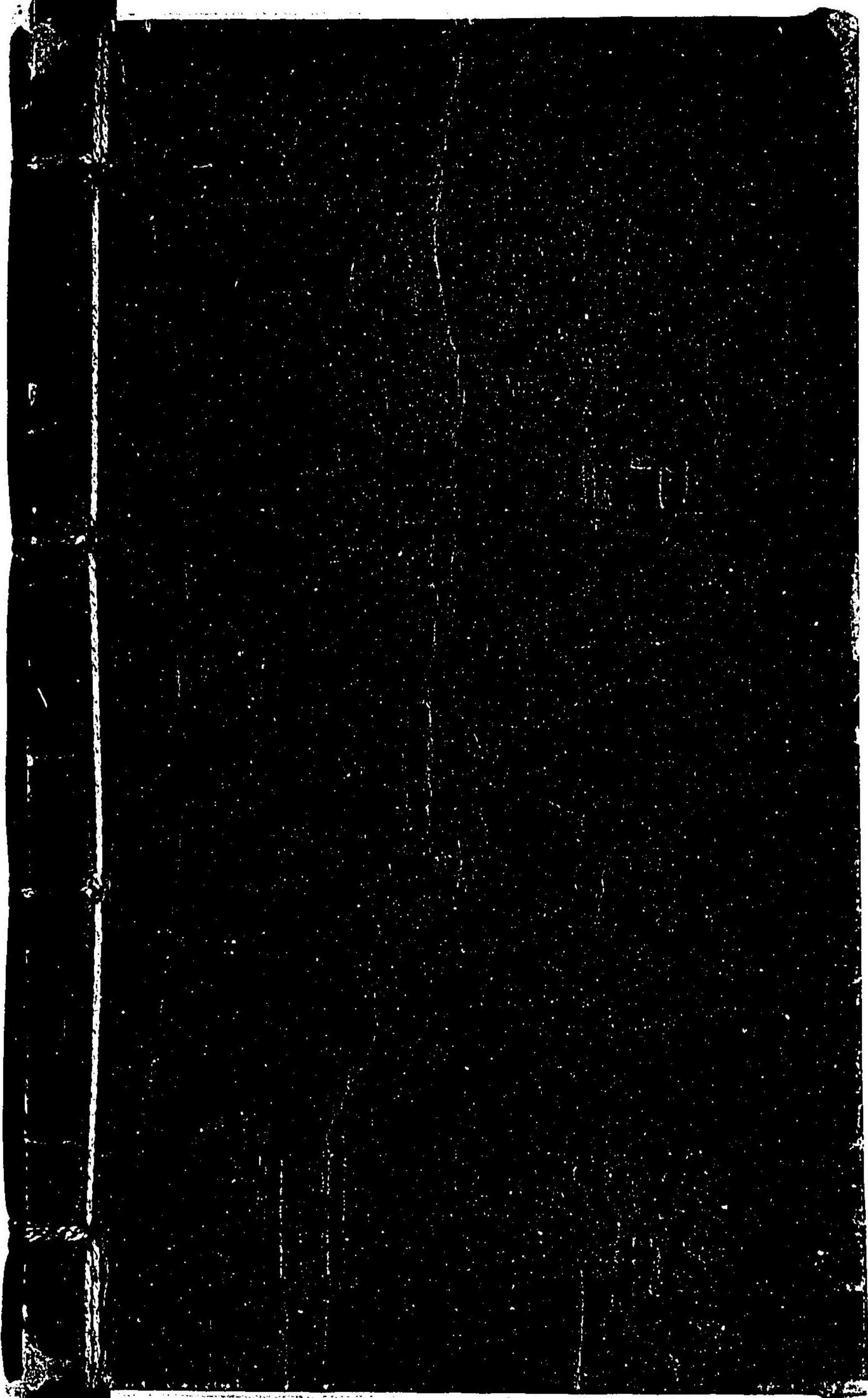
遊技類

三四函

二架

八二號

一〇冊



156
10
82

系不湖月抄

七